SIIF
Social Innovation and Investment Foundation
社会変革推進財団

# コロナ禍における社会課題解決とインパクト投資

社会変革推進財団（SIIF）
エクゼクティブ・アドバイザー　安間　匡明

2020/10/13

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# お伝えしたいこと

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

1. インパクト投資は、社会・環境へのインパクト創出とファイナンシャルリターン達成を同時に実現するもの。
2. ESG投資の延長線上で、インパクト投資が急拡大、世界で7,150億ドルの残高。
3. SDGsの達成のみならず、我が国の独自の社会課題解決のために、民間資金を使ったインパクト投資は有効である。
4. インパクト投資の金融プロダクツは多様。政府・自治体の成果連動型契約の活用（PFS/SIB）も広義のインパクト投資の一類型。
5. インパクト投資の主体は民間ではあるが、政府にも果たすべき役割がある。日本では金融庁だけでなく、内閣官房、環境省、内閣府が取組みを開始。
6. いまのコロナ禍は、生活格差拡大・社会的弱者への悪影響と、危機時における政府・公的資金の重要性と希少性を炙り出しているなか、既存の社会課題への対応からインパクト投資の役割が増しており、改めてその重要性が強く認識されている。
7. インパクト投資の国際的な議論に参加しつつ、国際的なフレームワークに沿って推進する必要性がある。日本でのガラパゴス化を防ぐ必要がある。
8. すべての省庁の社会課題に応じてインパクト投資を推進し、予算の仕組みにおいても、かかる取組を最大化するインセンティブの設計が考えられる。
9. 今後の一層の普及のためには、インパクト評価・計測の標準化・数値化・記号化などが課題。

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資における社会変革推進財団（SIIF）の役割

- 2017年に日本財団の協力により設立。
- 日本におけるインパクト投資のエコシステム構築を目指して活動。

*GSGは、現在32か国が加盟するインパクト投資のグローバルな推進団体

**1. インパクト投資モデル事業の創出（例）**

- **日本初のSIB案件を組成・出資、これまで8件に出資**
  神戸市、八王子市のソーシャルインパクトボンド（SIB）
- **インパクト投資ファンドの共同設立・運営**
  日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド）の新生銀行グループ、みずほ銀行との共同設立
- **ベンチャーファンドにおける社会的インパクト・マネジメント**
  ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンドの出資先の社会的インパクト・マネジメント、インパクトレポート発行支援

**2. インパクト投資プレーヤー支援（例）**

- **インパクト投資を専門とする金融機関への出資・協働**
  （株）プラス・ソーシャル・インベストメントへの出資・協働

**3. インパクト投資市場環境の整備（例）**

- **GSG（Global Steering Group for Impact Investment）***の国内諮問委員会の運営
- **調査研究**：日本におけるインパクト投資の現状調査
- **政策提言**：G20、PFS／SIBなど


Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資への流れ・背景

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

**① フィランソロピーセクターから**
（財団など）
より革新的かつ持続的な社会課題解決を促進する手法として、ビジネスリーダーが設立した財団を中心にインパクト投資の活用が拡大

**②フィナンシャルセクターから**
（金融機関など）
2008年のリーマンショック等の反省を経て、金融機関の意義追及、社会課題解決も追求する新しい投資機会としてインパクト投資への取組みを本格化

**インパクト投資**

**④政府セクターから**
（開発金融機関、国際機関など）
財政拡大が望めない中、より革新的かつ持続的な手法として、民間資本導入のための手段としてインパクト投資への取組みを本格化

**③ビジネスセクターから**
（事業会社など）
消費者の価値観の変容やSociety5.0などを受け、新しい事業機会・SDGsへの貢献手法としてインパクト投資への取組みを本格化

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資の起源

## 1.　ロックフェラー財団

インパクト投資という言葉自体は、2007年に米国のロックフェラー財団が、金融機関・慈善事業・開発の各分野のリーダーを集め、環境面・社会面のインパクトを創出するための投資の在り方等を議論する会合を、イタリアのベラジオで開催した際に生まれた言葉である。その2年後の2009年には、英国モニター・インスティテュートが、インパクト投資は、金銭的リターンとインパクト（環境・社会的インパクト）を同時に目指す投資であるとして、図表8のような縦横の2軸の図で表現した。この図は、インパクト投資の概念を視覚的に分かりやすく伝えるものとして、今日までに多くの関係者によって引用されている。

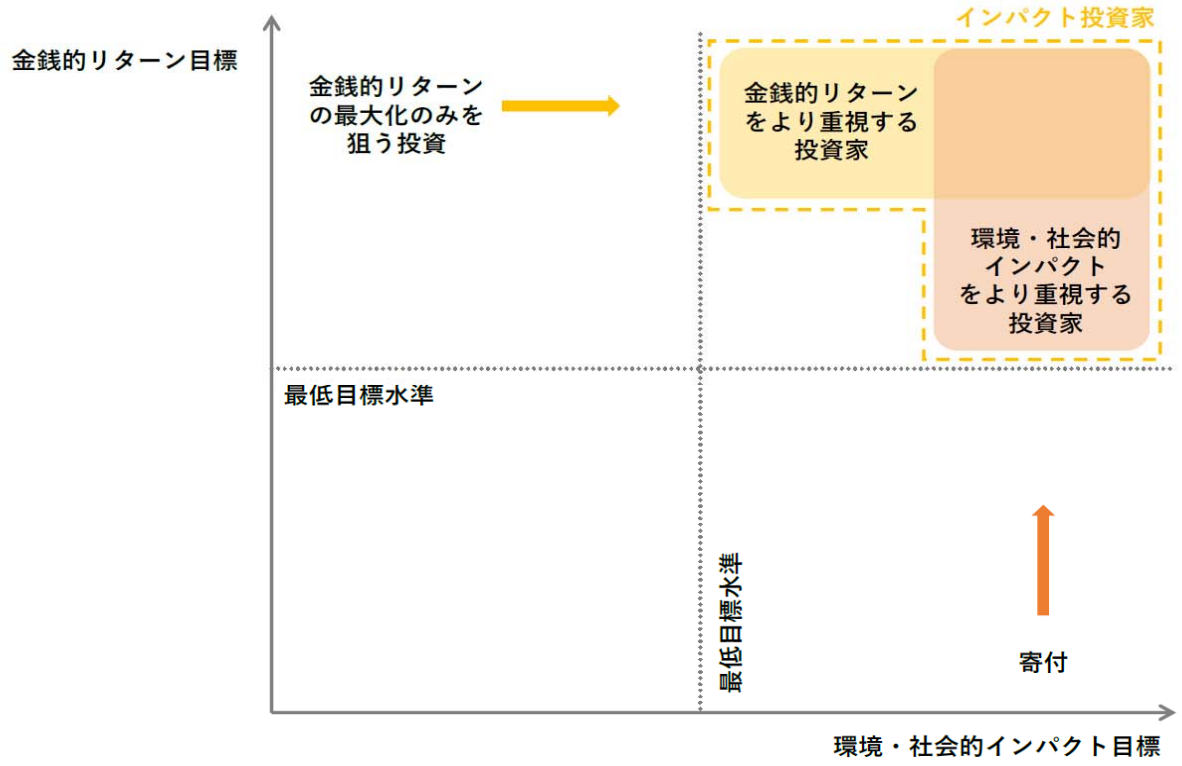
## 2.　SRIとの類似性と相違

もっとも、投資を通じて、金銭的リターンの獲得を目指すと同時に、世の中に対して何らかの好影響を与えることを目指すというコンセプトは、必ずしもインパクト投資によってはじめて提唱されたものとは言えず、例えば、古くから存在する社会的責任投資（Socially Responsible Investment：SRI）においても、同様の考え方を見ることがある。「SRI」と「インパクト投資」、それぞれの言葉の使われ方の違いを集中的に調査・分析したHöchstädter & Scheck (2015)は、両者は関連する概念ではあるものの、明確に区別されている、あるいはインパクト投資はSRIの先を行くものとして扱われる傾向にあることを明らかにしている。同論文はその理由の一つとして、インパクト投資は、環境面・社会面の課題の解決に対してより能動的な態度があること挙げている（なお、SRIの場合は、ESGに関する何らかの基準に照らして、企業の取組みを改善することが重視される傾向にあるという）。

**（注）以上いずれもニッセイアセットマネジメントの金融庁調査業務委託報告書「上場株式投資におけるインパクト投資活動にかかる調査」(2020年3月）から抜粋**

# インパクト投資の概念

図表８：インパクト投資の概念（金銭的リターンとインパクトの同時追求）

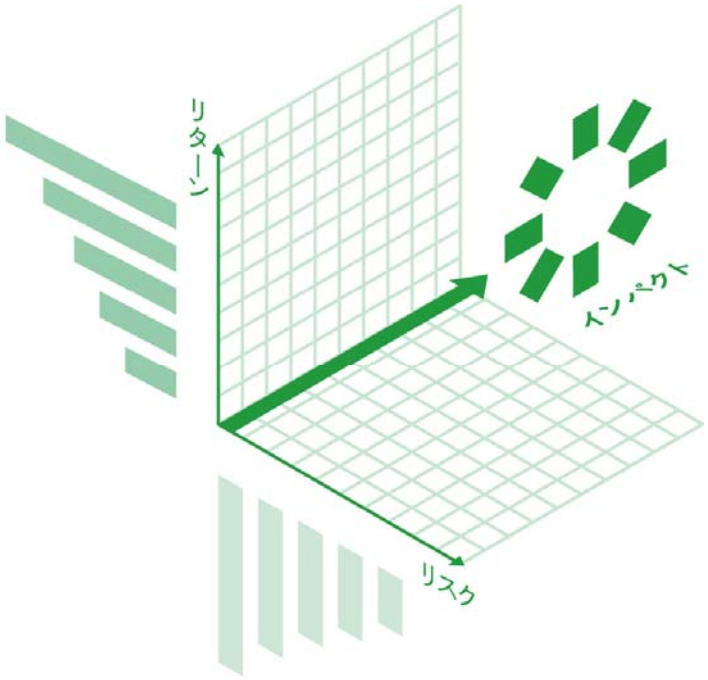



出所：Monitor Institute (2009) “Investing for Social & Environmental Impact: A Design for Catalyzing an Emerging Industry” pp. 32 を基にニッセイアセットが作成

**（注）以上いずれもニッセイアセットマネジメントの金融庁調査業務委託報告書「上場株式投資におけるインパクト投資活動にかかる調査」（2020年3月）から抜粋**

# インパクト投資の定義

- **財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的および環境的インパクトを同時に生み出すことを意図する投資**です。
- 投資判断は、**リスク・リターン・インパクトの三次元評価**に基づきます。




上図出典：UBS “Doing well by doing good”2016を基に作成

**インパクト投資の４要素**

1. Intentionality
   （意図があること）

2. Financial Returns
   （財務的リターンを目指すこと）

3. Range of asset classes
   （広範なアセットクラスを含むこと）

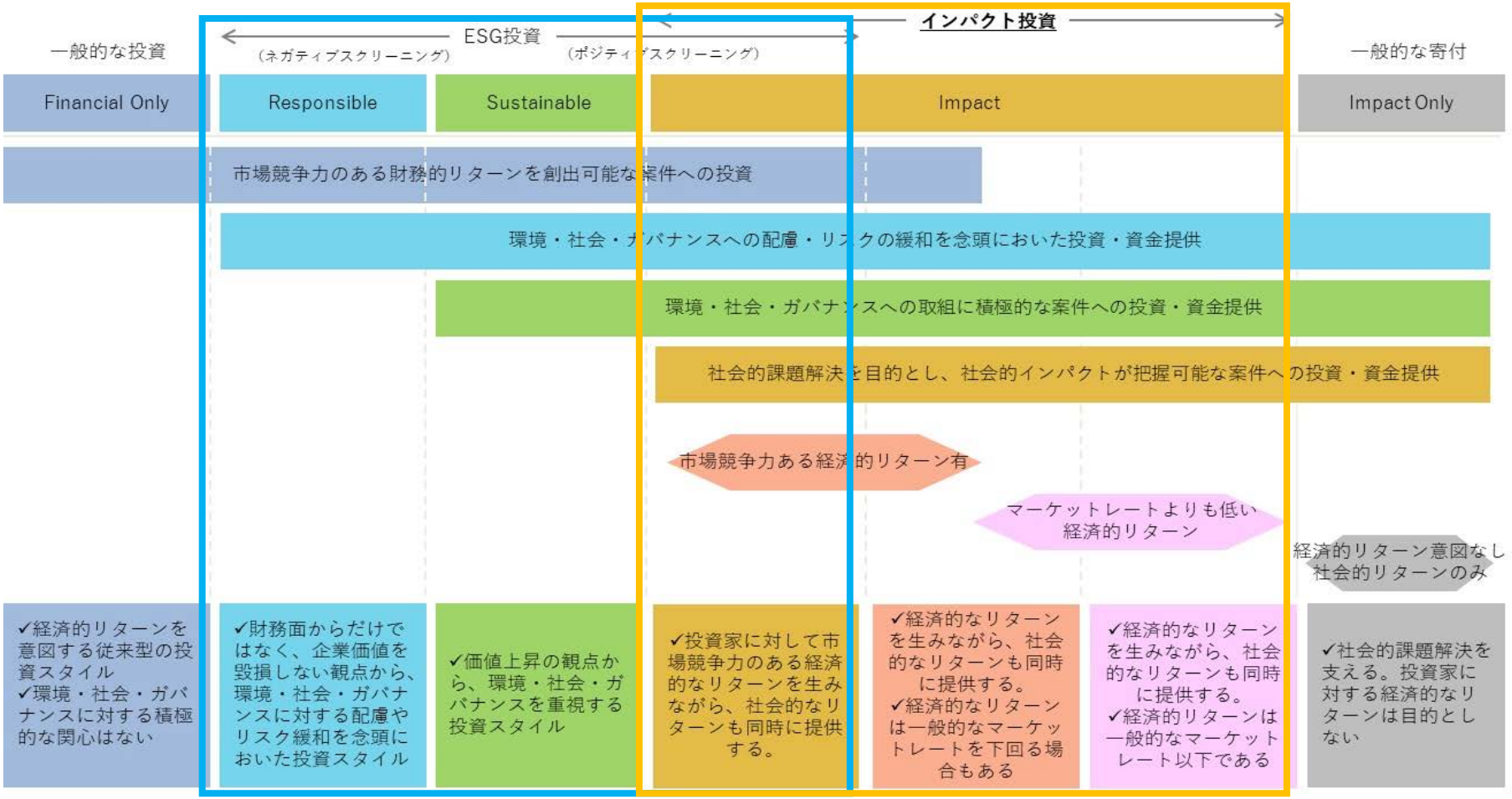
4. Impact Measurement
   （社会的インパクト評価を行うこと）

出所：SIIFアニュアルレポート2018（http://www.siif.or.jp/wp-content/uploads/2019/07/SIIF_annual_report_2018.pdf）
GIIN 2019 “Core Characteristics of Impac5 Investing” (https://thegiin.org/characteristics)

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資とESG投資

ESG投資は長期的なリスクの削減（負の外部性削減）と収益の最大化を目指す（二次元）が、インパクト投資は**特定の社会課題解決を目的とするという明確な意図**を持つ（三次元）。




出所：GSG国内諮問委員会「インパクト投資の拡大に向けた提言書2019」
（http://impactinvestment.jp/2020/04/proposal2019.html）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# ESG投資の一類型としてみた場合

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

1. ネガティブスクリーニング
2. ポジティブスクリーニング
3. 規範に基づくスクリーニング
4. ESGインテグレーション型
5. サステナビリティテーマ投資型
6. インパクト投資型
7. エンゲージメント・議決権行使型

# インパクト投資とSDGs

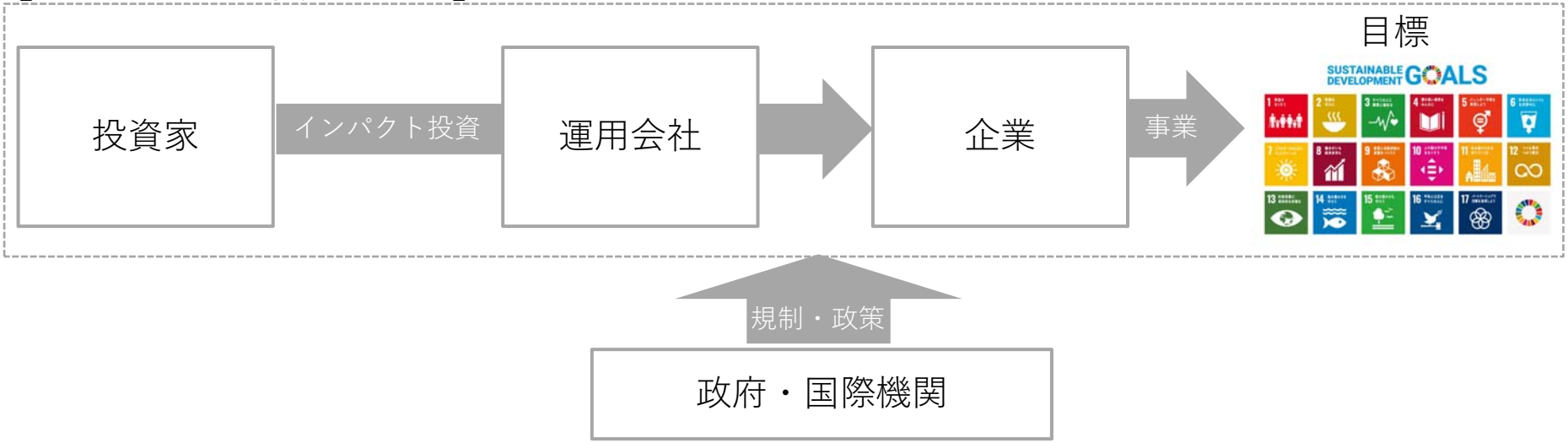
**SDGs達成には、ESG投資だけでは不十分で、インパクト投資が大きく貢献し得ると期待されている。**

**1) 目標としてのSDGs**：インパクトを評価する**世界共通フレームワーク**としての活用が進んでいる。主な５ゴールの達成には2.6兆ドルが不足*する試算。**政府や国際機関は民間資本の活用を促進**。

**2) SDGsによる事業機会**：SDGs関連ビジネス領域で年間約12兆ドルの経済価値があると試算。既存事業をSDGsに関連づけるだけでなく、**社会環境課題の解決に貢献する新たな事業の創出・拡大が必要**。

**3) SDGsによる投資機会：**個人投資家はミレニアル世代を中心にインパクト志向性が強まっており、機関投資家は新しい投資機会の発掘を求めている。社会環境課題の解決に資する新たな事業に対して、その**インパクトの拡大に貢献する金融商品が求められている**。

【SDGsに向けた資金の流れ】




*出所：IFC “Creating Impact - The Promise of Impact Investing” 2019
(https://www.ifc.org/wps/wcm/connect/publications_ext_content/ifc_external_publication_site/publications_listing_page/promise-of-impact-investing)
図はSIIF作成

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資の種類（筆者によるプロダクツ別の整理）

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

1. **プライベートイクイティ投資**　：事例「はたらくファンド」・Bridges Funds Management

2. **サステイナビリティリンクローン・ボンド**（単純な資金使途特定型の債券、グリーンボンドなどは含まない）：事例「住友林業」

3. **上場株インパクトファンド**（単純なESGインテグレーションの投信は含むべきでない）：事例「Blackrock Impact Fund 」

4. **マイクロファイナンス等**（中小零細企業向けのインパクト融資を含む）：事例「ブルーオーチャード」

5. **コミュニティ投資**（低所得者層向け住宅投資など）：事例「Bridges Funds Management」

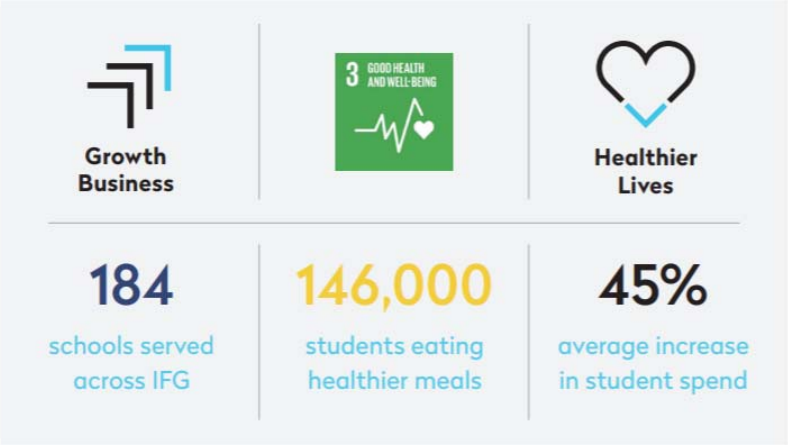
6. **ペイフォアサクセス（PFS）**：政府・自治体による成果連動型契約

# 1. Bridges Sustainable Growth Fund の投資先事例

## Impact Food Group

Providing high-quality nutritious school meals to school children

- 3人に一人が肥満児・肥満傾向の英国で、健康的な給食専門ケータリング業者
- 肥満改善・学力向上が社会的インパクト




## World of Books

Using technology to re-sell and recycle used books

- CO2排出への影響の大きい埋立てゴミの25%が廃棄物であり、その減少を目指し、古本等の販売・リサイクルを行う

出所：Bridges Management Fund

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 1．日本で初の本格的なインパクトファンド「はたらくファンド」

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

## ファンド概要

| | |
|---|---|
| **名称** | **日本インパクト投資２号投資事業有限責任組合（通称：はたらくファンド）** |
| 長期目標 | 財務リターンと社会的インパクトを両立できるベンチャーキャピタル型インパクト投資ファンドのモデル構築 |
| 事業内容 | 新生企業投資・みずほ銀行・SIIFと共同でVCファンドを運営<br>LPは都市銀行及び地方銀行、事業会社、学校法人等 |
| 出資対象 | ・目指す社会的インパクト「多様な働き方・生き方の創造」<br>・子育て、教育、介護、多様な働き方・生き方に関連する事業 |
| 対象事業フェーズ | ミドル・レイター（一部アーリー） |
| ファンドサイズ | ファーストクローズ26億円 |
| 投資期間 | 2019年6月28日～　（10年程度） |

出所：SIIF

# はたらくファンドの事例

戦略テーマ
**インパクト投資**

## 出資先紹介

## 社名：ユニファ（ IoT/AIを活用した保育関連事業）

**【社会課題】**
保育士不足

**【SIIFの支援】**
スマート保育園を通じた保育士の労働環境改善の効果測定設計の支援（経営支援）。事業が創出するインパクトの、上場時における情報公開のための支援（上場支援）

**【会社概要】**

社名:　ユニファ株式会社

代表者:　土岐 泰之

設立:　2013年5月

オフィス:　東京（日比谷）、愛知（名古屋）

従業員:　171名　（2019年7月時点・派遣スタッフ等を含む）

資本金:　9億6,577万円　（2019年4月時点資本準備金含む）

# はたらくファンドの事例

戦略テーマ
**インパクト投資**

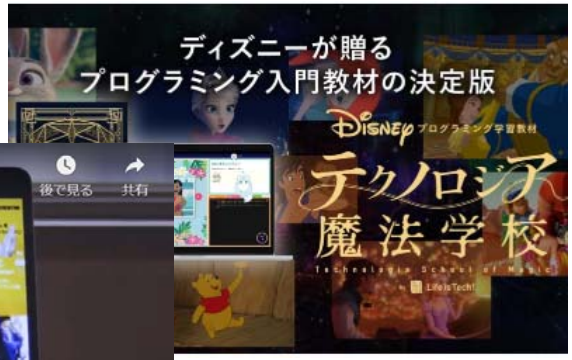
## 出資先紹介

## 社名：ライフイズテック（ プログラミング教育関連事業）

ライフイズテック株式会社

**【社会課題】**
働き方の多様化。社会の課題解決をリードする次世代人材の育成

**【事業内容】**
中高生向けIT・プログラミング教育。サービスの提供



**【会社概要】**

| | |
|---|---|
| 社名： | ライフイズテック |
| 代表： | 水野　雄介 |
| 設立： | 2010年7月6日 |
| 従業員数： | 51名（2020年2月現在） |
| 参加者数： | 39,000人（プログラミングキャンプの延べ参加人数） |
| スクール数： | 全国5拠点 |

# 2．三井住友信託銀行による住友ゴム向け「ポジティブインパクトファイナンス」

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

- ポジティブ･インパクト･ファイナンスは、企業活動が環境・社会･経済に及ぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、**当該活動の継続的な支援**を目的とした融資
- SDGｓ達成への貢献度合いを**評価指標として活用して開示**することが最大の特徴
- <評価した取り組み>　①2008年から「Green(緑化)」「Ecology(事業活動の環境負荷低減)」「Next(次世代型技術・製品の開発)」「Kindness(人にやさしい諸施策)」「Integrity(ステークホルダーへの誠実さ)」の五つの枠組みからなるCSRガイドライン「GENKI」を掲げ、積極的にサステナビリティ活動を推進してきたこと。②2020年2月に公表した新中期経営計画において「ESG経営の推進」を掲げ、事業活動を通じたSDGs達成への取り組みを推進していること。JCRより第3者意見を取得済

| テーマ | 内容 | KPI（目標と指標） | SDGs |
|---|---|---|---|
| 緑化 | ･地球温暖化防止と生物多様性保全 | ･植樹によるCO2吸収量をKPIとして、算出方法を確立した上で目標値を策定 | |
| 事業活動の環境負荷低減 | ･低炭素社会の構築<br>･循環型社会の形成 | ･2030年までに全技術を投入してSMART TYRE CONCPTを完成し交通事故のない世界を実現 | |
| 次世代技術･製品の開発 | ･「安全･快適」「経済性」「品質」の追求<br>･環境配慮商品の開発 | ･制振事業を2025年度に2019年度比160%拡大し、ゴムの技術で地震から人、家、未来を守る | |
| サプライチェーンマネジメント | ･持続可能な天然ゴムの実現 | ･住友ゴムグループ「持続可能な天然ゴム方針」に沿ったステークホルダーとの連携による取り組み推進 | |

エナセーブ NEXT Ⅲ

環境負荷低減にも
貢献するタイヤ

出所：住友ゴムウェブサイト

生物多様性保全活動の一環で市島工場で国蝶オオムラサキを育成。毎年近隣のお子さんを招待し観察会を実施している

# 3. ブラックロックグローバルインパクトファンド（上場ファンド）

● 世界の社会・環境問題に取り組んでいるグローバル企業に積極的に投資し、長期的なトータルリターンを最大化することを目的に、2020年3月に開始

**Universe Construction**
(over 600 companies)

**Portfolio Construction**
(40-50 companies)

**Engagement**

**Report**

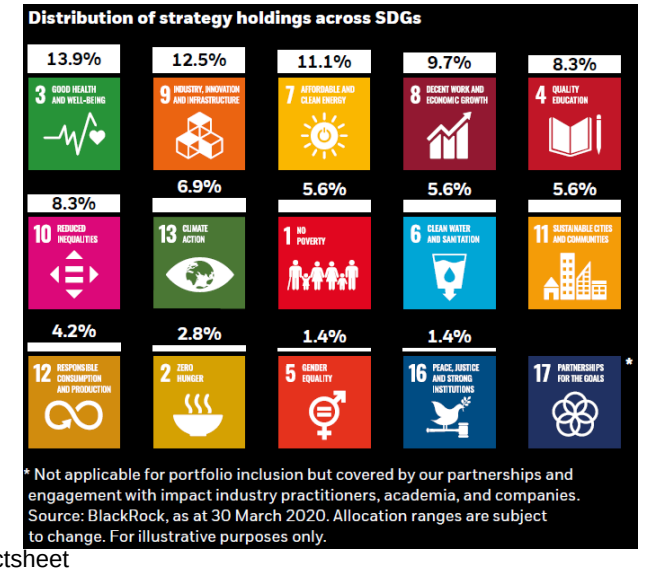
**Impact criteria**

1. **Materiality**: A majority (greater than 50%) of revenues or business activity advances one or more of the UN SDGs or targets.
2. **Additionality**: A company's offerings will help address a specific need that is unlikely to be met by other agents.
3. **Measurability**: The company's impact must be quantifiable.

## TOP HOLDINGS (%)

| | |
|---|---|
| SAFARICOM PLC | 3.79 |
| BOSTON SCIENTIFIC CORPORATION | 3.59 |
| KONINKLIJKE PHILIPS NV | 3.07 |
| BANK RAKYAT INDONESIA (PERSERO) TBK PT | 3.05 |
| DANAHER CORPORATION | 2.96 |
| SUN COMMUNITIES INC | 2.91 |
| NUANCE COMMUNICATIONS INC | 2.88 |
| RAPID7 INC | 2.71 |
| TRANSALTA RENEWABLES INC | 2.69 |
| XYLEM INC (INDIANA) | 2.64 |
| **Total of Portfolio** | **30.29** |

Holdings subject to change




Source: BlackRock Global Impact Fund Class Z USD July 2020 Factsheet
Portfolio breakdown information at 31 July 2020

Source: BlackRock (https://www.blackrock.com/uk/intermediaries/products/313457/blackrock-global-impact-fund)

出所：Blackrockウェブサイト

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 4. ブルーオーチャード（マイクロファイナンス）

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

- 2001年に世界初のマイクロファイナンスを専門とする民間の投資機関としてスイスで創設
- 世界で最初に民間資金のみによるマイクロファイナンスファンドを設置。20年間平均4.35％のリターンを達成
- 2019年に英シュローダーグループ入り
- これまでに新興国を中心とした80カ国で約70億米ドルの投融資を行い、540 以上の機関に対し融資を行い、5,800万人以上の小規模企業家に金融へのアクセス等への支援
- 現在は既存株主の利益のため現在新規投資受入れ停止中（ソフトクローズ）

## Blue Orchard Microfinance Fund概要

### TOP 5 HOLDINGS (AS % OF TOTAL ASSETS)

| | | |
|---|---|---|
| JSC CREDO BANK | Georgia | 2.35% |
| TBC BANK | Georgia | 2.10% |
| PRODUBANCO | Ecuador | 2.03% |
| BANCO FICOHSA HONDURAS | Honduras | 1.47% |
| PROCREDIT BANK SERBIA | Serbia | 1.41% |

### FUND FACTS

| | |
|---|---|
| Average exposure per MFI (USD) | 10,882,445 |
| Weighted average life (years) | 1.54 |
| Weighted average interest rate duration (years)* | 0.28 |
| Number of countries | 49 |
| Number of MFIs | 153 |
| Number of loans outstanding | 326 |
| Cash & cash equivalents** | 21% |
| Number of loans/tranches disbursed since inception | 1,568 |

### SOCIAL PERFORMANCE INDICATORS*

| | |
|---|---|
| Total # of microentrepreneurs reached by MFIs in the portfolio | 26,262,838 |
| # of microentrepreneurs reached by funding provided by BOMF | 1,240,184 |
| # of loan officers | 89,468 |
| % of rural clients | 52% |
| % of female clients | 79% |
| % of individual lending | 84% |
| % of group lending | 16% |
| Average loan size to microentrepreneurs | |
| Simple average across MFIs in USD | 38,192 |
| Median across MFIs in USD | 2,939 |

*Data based on the latest available data from MFIs in the portfolio. Includes some estimates by BlueOrchard

### FUND STATISTICS1)

| | |
|---|---|
| Annualized return | 3.60% |
| Average monthly return | 0.30% |
| Best month (Dec 2000) | 1.23% |
| Worst month (Feb 2013) | -2.74% |
| Volatility | 1.09 |
| Sharpe Ratio (risk-free rate of 2.2%) | 1.25 |
| Correlation with MSCI World | -0.05 |
| Correlation with JPM EMBI Global | 0.09 |
| Correlation with 6-month USD Libor Index | 0.43 |

出所：Blue Orchard ウェブサイト

# 5. Bridges Property Fundの投資先

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

## Flexspace

Flexible work and office spaces for SMEs, primarily in underserved areas

## Birchgrove

Purpose-built assisted living accommodation for rent to the elderly

## Worship Square, Shoreditch

Developing much-needed sustainable

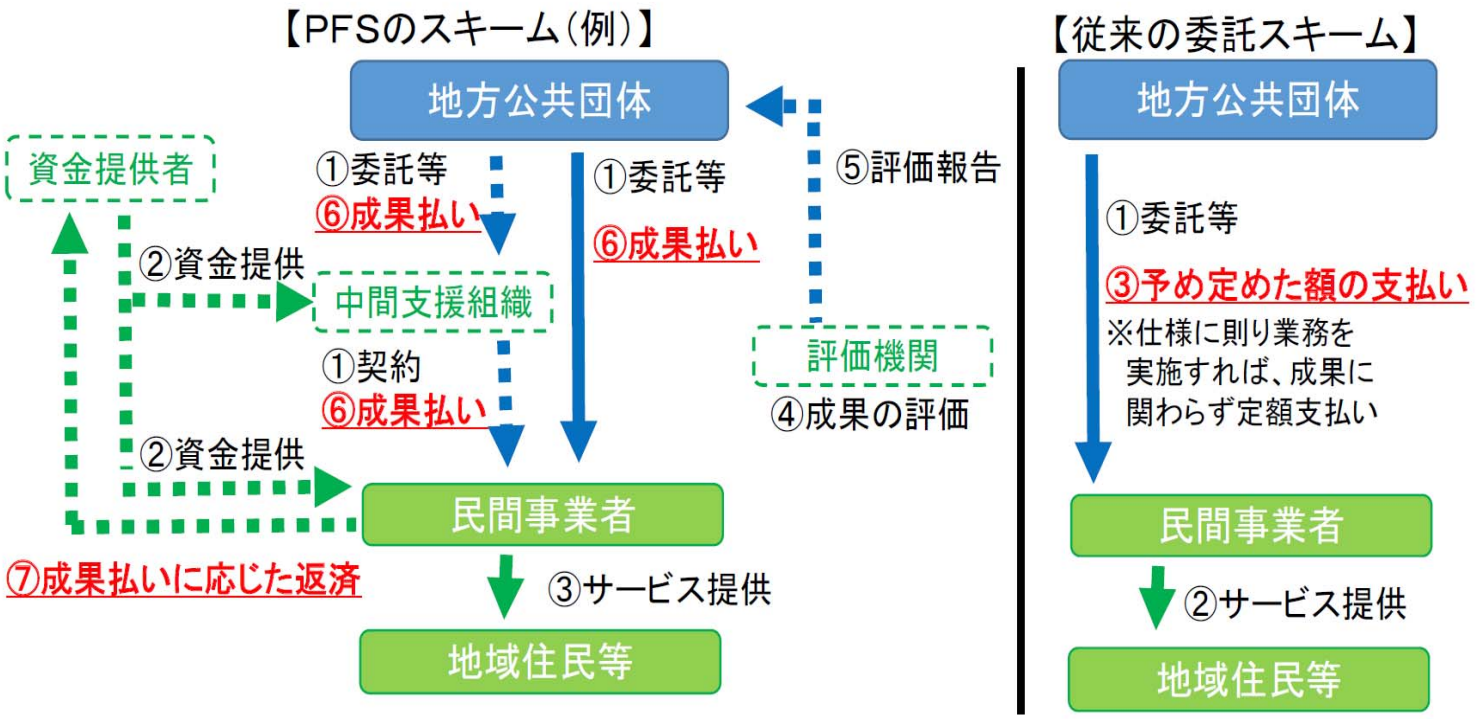
## Taberner House, Croydon

Providing much-needed affordable and lower-cost housing in central Croydon

出所：Bridges Management Fund

# 6. 内閣府によるPFSの推進

## PFSによる事業スキームの例



# 6. 国内動向（2020年3月時点） - 地域・事業

日本国内では約30件前後の事業が実施されている。ヘルスケアの分野が目立つ

**北海道**
**北海道札幌市**
SIB案件組成調査

**関東・甲信越地方**
**●東京都八王子市**
がん検診受診率向上
**●東京都多摩市**
薬局と連携した
糖尿病性腎症等重症化予防
**神奈川県鎌倉市**
ケースワーカーの指導支援
**神奈川県横浜市**
遠隔健康医療相談
**千葉県佐倉市**
生活困窮者就労支援
**埼玉県**
がん検診受診率向上
**山梨県**
健康意識改善プログラム
**長野県伊那市（他８自治体）**
生活習慣病予防

**中国地方**
**●広島県・県内６市**
がん検診受診率向上
**★岡山県岡山市**
健康ポイント
生涯活躍就労支援
**島根県雲南市**
介護予防事業

**九州・沖縄地方**
**福岡県福岡市**
薬剤処方適正化
**福岡県大牟田市**
介護度進行抑制
**福岡県大川市**
認知症予防
**福岡県久留米市**
地域力強化事業
**●大分県・県内３市**
薬剤処方適正化
**熊本県合志市**
介護予防
**沖縄県浦添市**
がん検診受診率向上

**近畿地方**
**★兵庫県神戸市**
糖尿病性腎症等重症化予防
**兵庫県川西市（他７自治体）**
健康増進プログラムール
**★大阪府豊中市**
禁煙支援
**大阪府池田市**
フリースクール運営
**大阪府堺市**
介護予防
**●大阪府**
養育里親の登録支援

**奈良県天理市**
認知症重症化予防
**滋賀県東近江市**
コミュニティビジネス起業支援
**滋賀県（他８自治体）**
要介護度改善ケア奨励事業
**奈良県奈良市**
認知症予防

**四国地方**
**愛媛県西条市**
コミュニティビジネス
起業支援
**徳島県美馬市**
運動機能改善

内閣府成果連動型事業推進室『国内PFS事業一覧』を参照して作成
※★はSIIFが中間支援＆資金提供
※●はSIIFが資金提供（のみ）

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

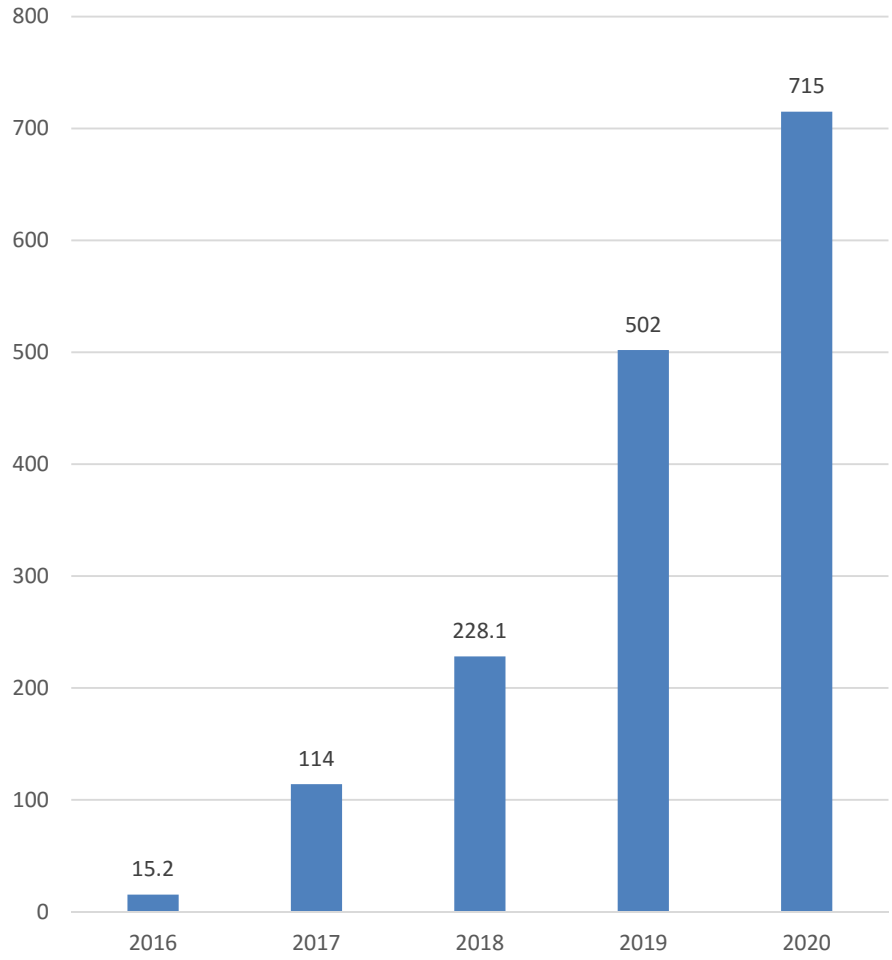
5. 社会的インパクト評価の動向

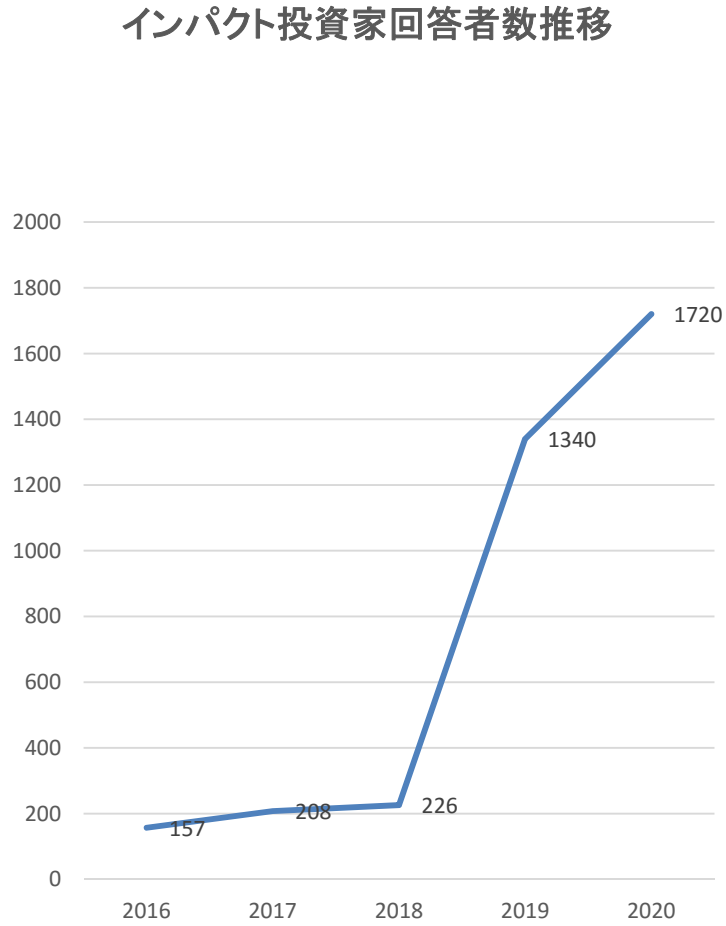
6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 世界インパクト投資推移（GIINの２つの調査を連結）




（注）2016～2018年は、投資家のアンケート調査を集計したもの。2019・2020は市場規模の調査をしたもので、データの性格は異なることに留意する必要がある。

# インパクト投資のグローバルな市場規模・取り組み機関

- インパクト投資の市場規模は推定 **7,150億ドル（約75兆円）**（2019年末 GIIN）
- インパクト投資残高の**54％は運用会社が保有**。多くのインパクト投資家が運用会社を利用している。

**【機関別インパクト投資残高の保有割合＊（2019年末）】**

Figure C: AUM by organization type

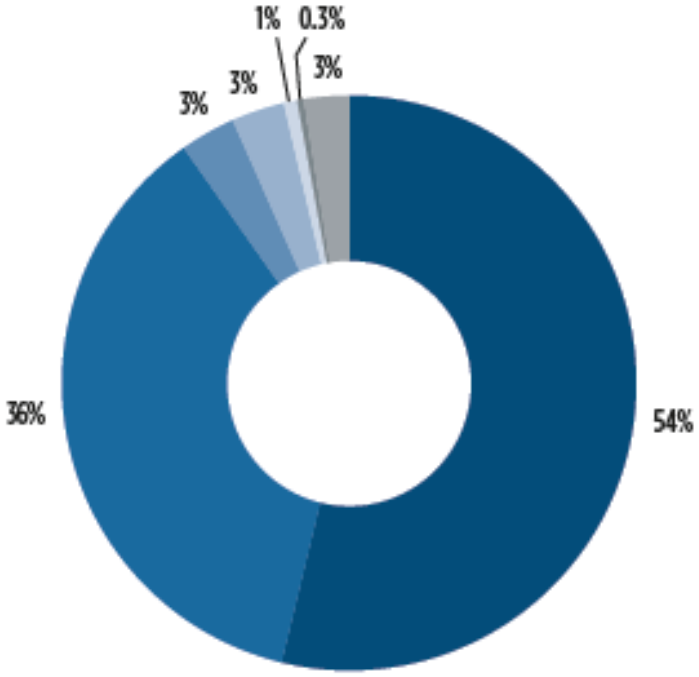
n = 1,728. Figures represent direct investments only, as of the end of 2019.

Percent of respondents

| | |
|---|---|
| 54% | **運用会社** |
| 36% | **開発金融機関** |
| 3% | **年金基金/保険会社** |
| 3% | **銀行/その他金融機関** |
| 1% | **財団** |
| 0.3% | **ファミリーオフィス** |
| 3% | **その他** |

Note: Total AUM represented is USD 621 billion, which is based on the database AUM before estimating for organizations not included in the database. (See the methodology on the following page for details). 'Other' includes corporations, community development finance institutions (CDFIs), and non-governmental organizations.

*Source: GIIN*



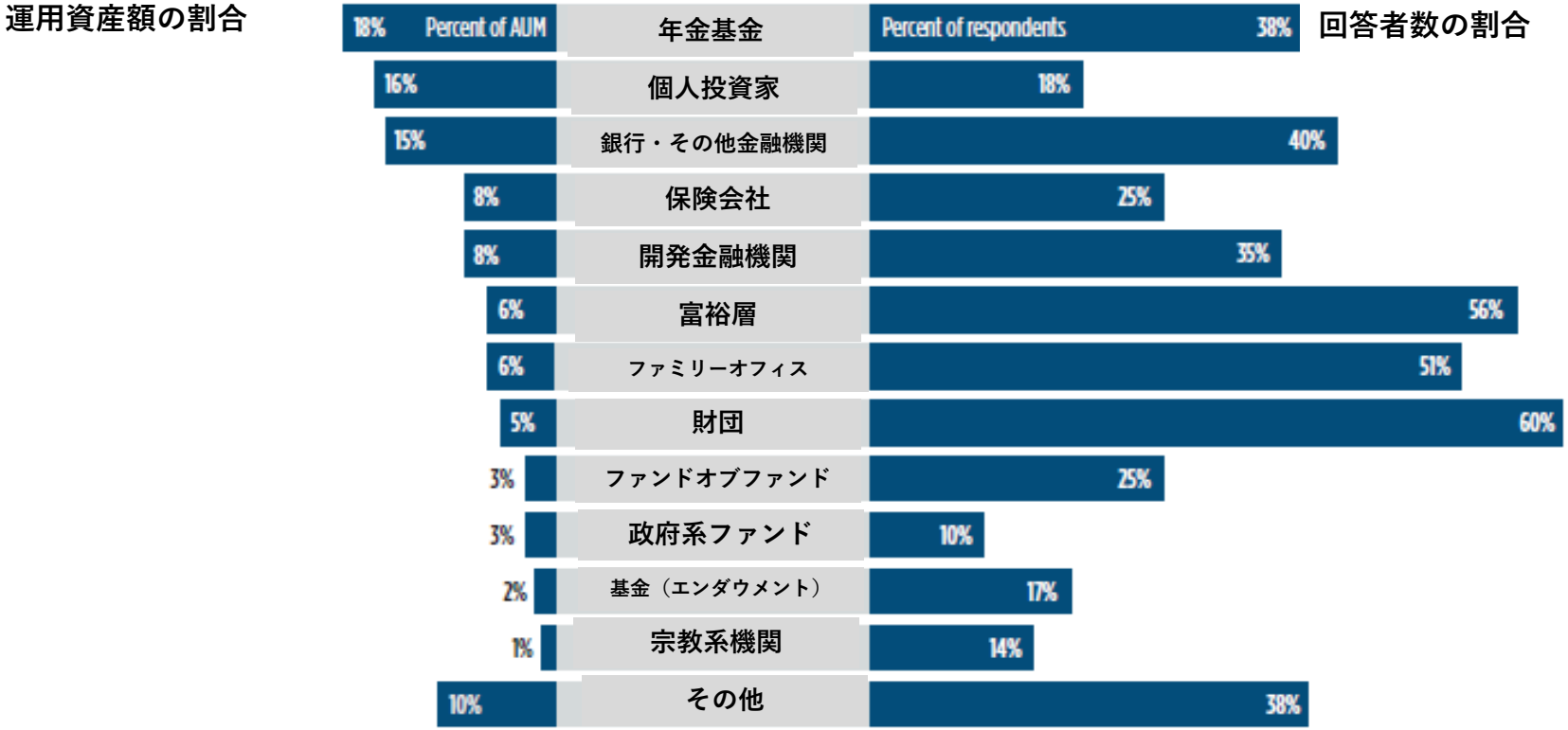

出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )
GIINは、インパクト投資の普及のために設立された非営利組織

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資を運用している運用会社の委託元

- 運用会社は、インパクト投資残高の**18%を年金基金、16%を個人投資家、15%を銀行・その他金融機関、8%を保険会社**から運用委託されている。
- 機関投資家、個人投資家ともに運用会社を通じたインパクト投資への参画が見られる。

**【各投資家タイプの運用委託額と委託されている運用会社の割合（2019年末）】**




Note: 'Other' sources of capital include government funding, corporations, other institutional investors, labor funds, investment consultancies, universities, and non-profit organizations. Several respondents were unable to provide a break-down that aligns with these sources of capital; these responses have also been captured in 'other.'

*Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey*

出所：GIIN "GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 取組み組織の本拠地

取り組み組織のうち**約5割が北米、約3割が欧州（計8割）**に本拠地を置く。

**【インパクト投資に取り組む組織の本社所在地（2019年末）】**

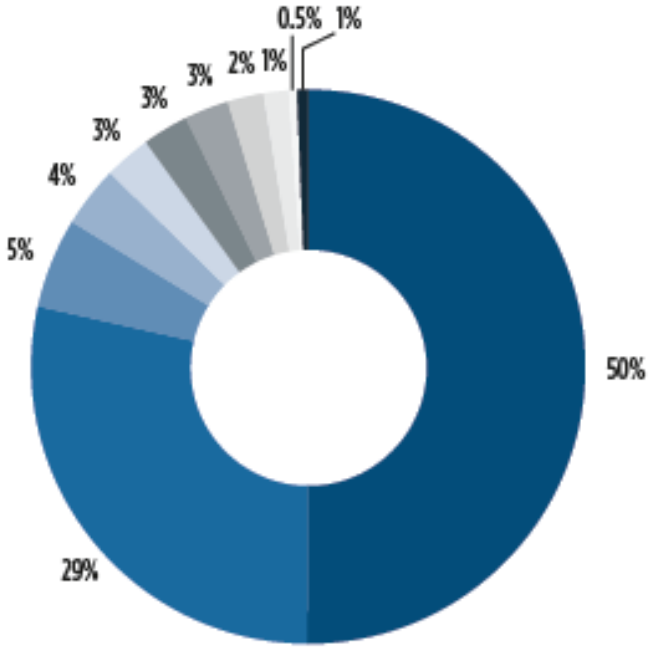
Figure B: Organizations' headquarters location

n = 1,419; excludes organizations for which headquarters location was unknown.

Percent of respondents

| | |
|---|---|
| 50% | U.S. & Canada |
| 29% | Western, Northern, & Southern Europe |
| 5% | Sub-Saharan Africa |
| 4% | Latin America & Caribbean (including Mexico) |
| 3% | Southeast Asia |
| 3% | East Asia |
| 3% | South Asia |
| 2% | Oceania |
| 1% | Middle East & North Africa |
| 0.5% | Eastern Europe & Central Asia |
| 1% | No single headquarters location |

*Source: GIIN*



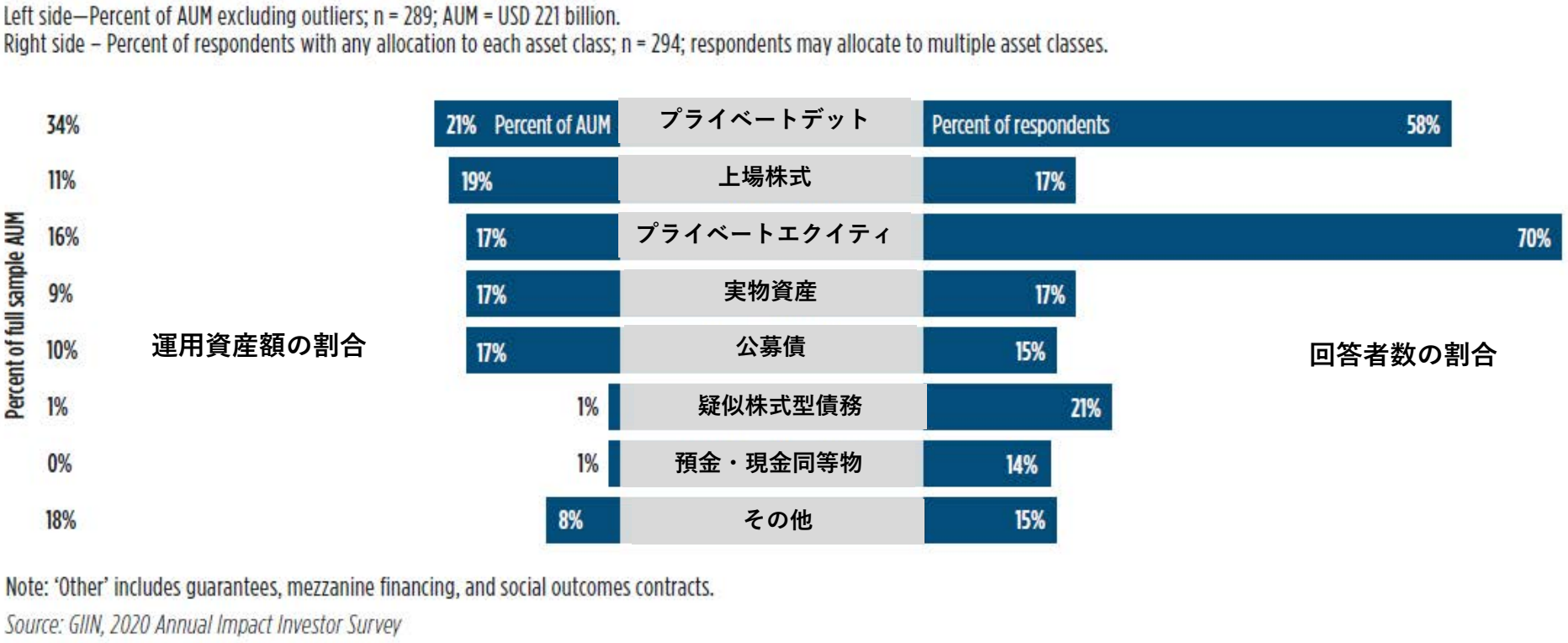

出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# アセットクラス

- 投資先は**非上場企業・私募が中心**で、プライベート・デット（21%）、プライベート・エクイティ（17%）を合わせると約4割。
- 近年、**上場企業への投融資が増加傾向**にあり、その割合は上場株式（19%）、公募債（17%）となっている。

**【投資手法の割合】**



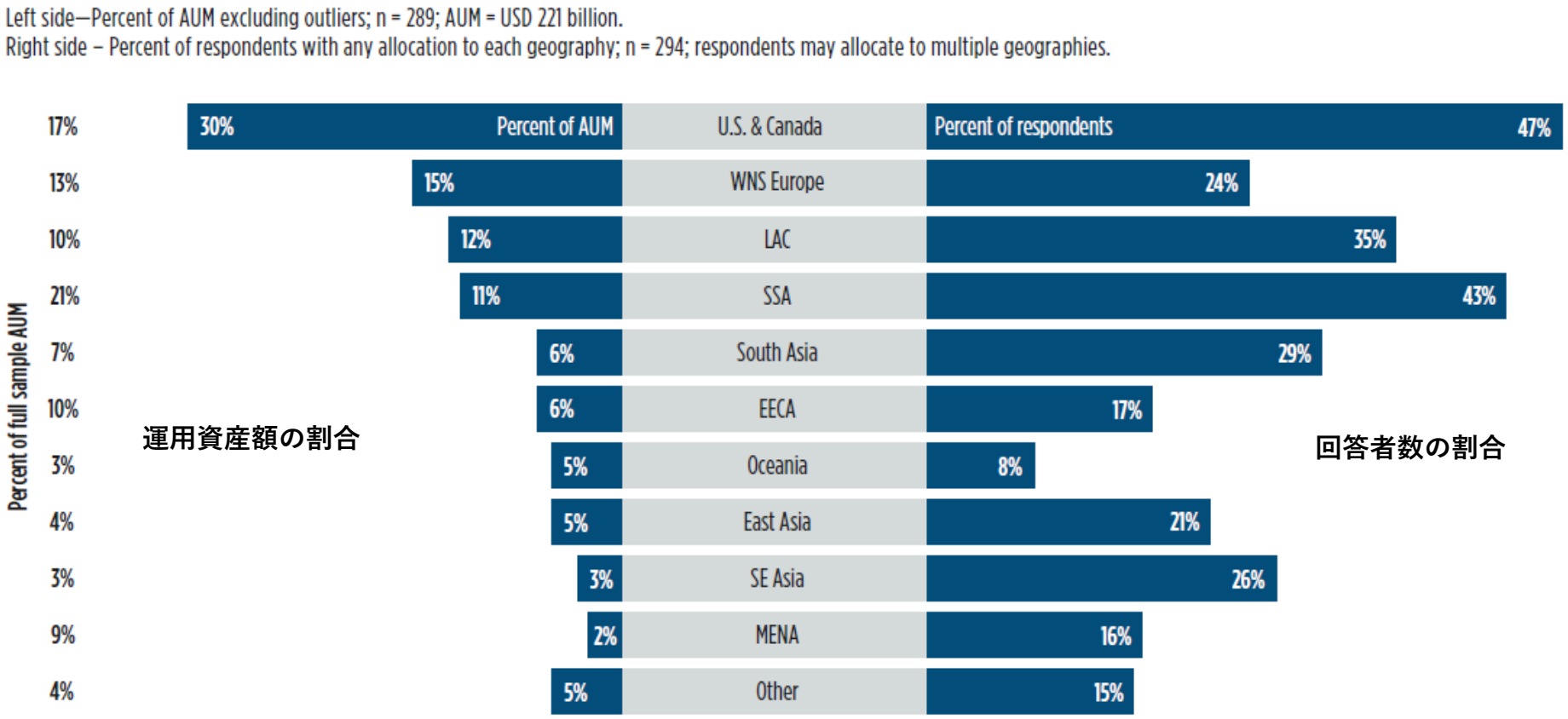

出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 投資先地域

- 投資先地域は広く分散しており、**先進国と途上国でほぼ50%ずつ。**
- **最大の投資先は、運用資産総額ベースで米国・カナダ**（30%）。

**【投資先地域の割合】**




Note: 'Other' includes investments allocated globally.

*Source: GIIN, 2020 Annual Impact Investor Survey*

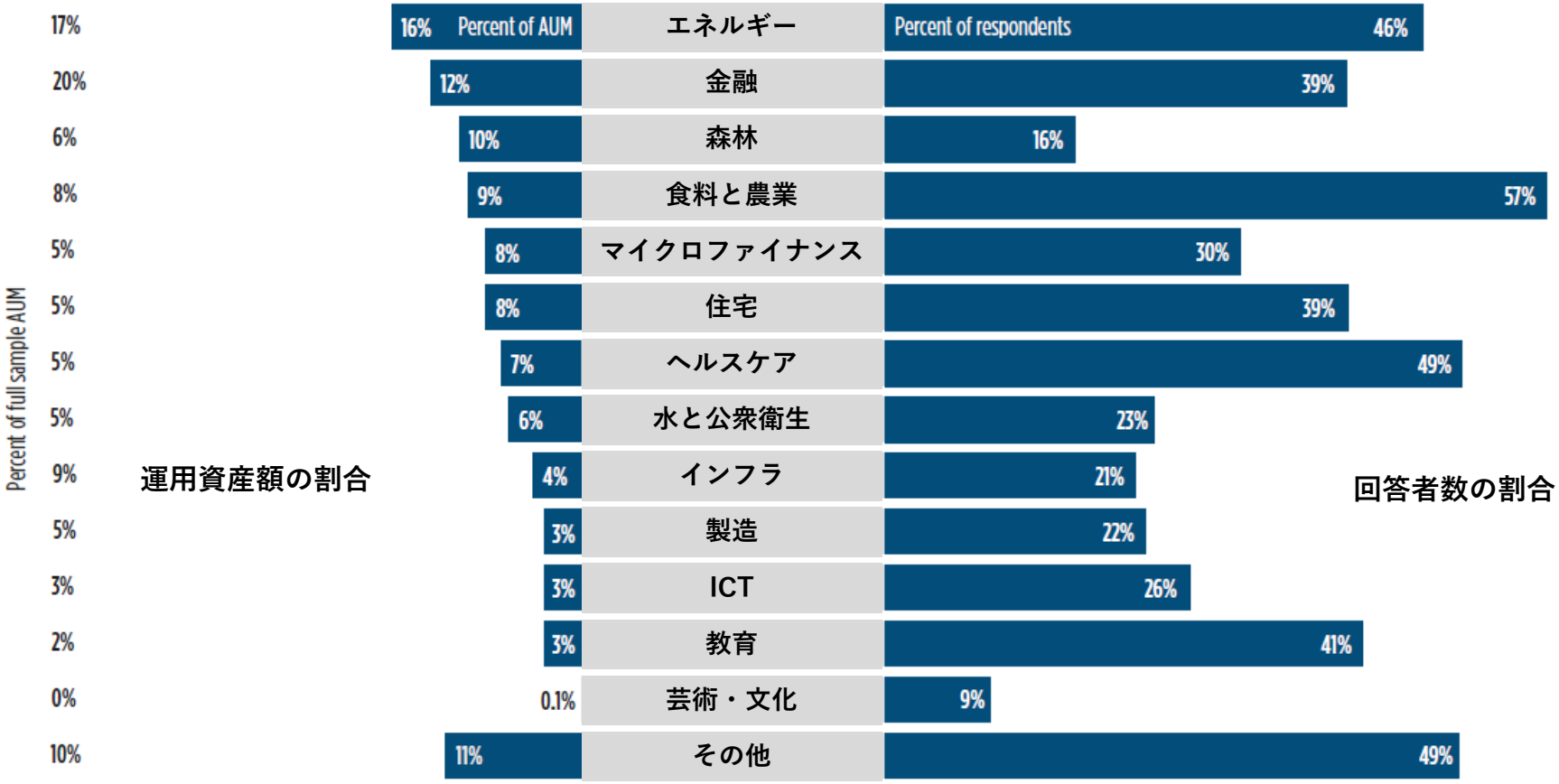
Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

出所：GIIN "GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )

# 投資先分野

**エネルギー、金融**（マイクロファイナンス以外）、**森林、食料と農業**などへの投資が多い。

**【投資先分野】**




Note: 'Other' includes investments that did not align to these sector categories such as real estate, tourism, community development, retail, and sector agnostic investments.

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

出所：GIIN “GIIN Annual Impact Investor Survey 2020 https://thegiin.org/research/publication/impinv-survey-2020 )

# 主なトレンド①　インパクト投資の原則・要件の明確化

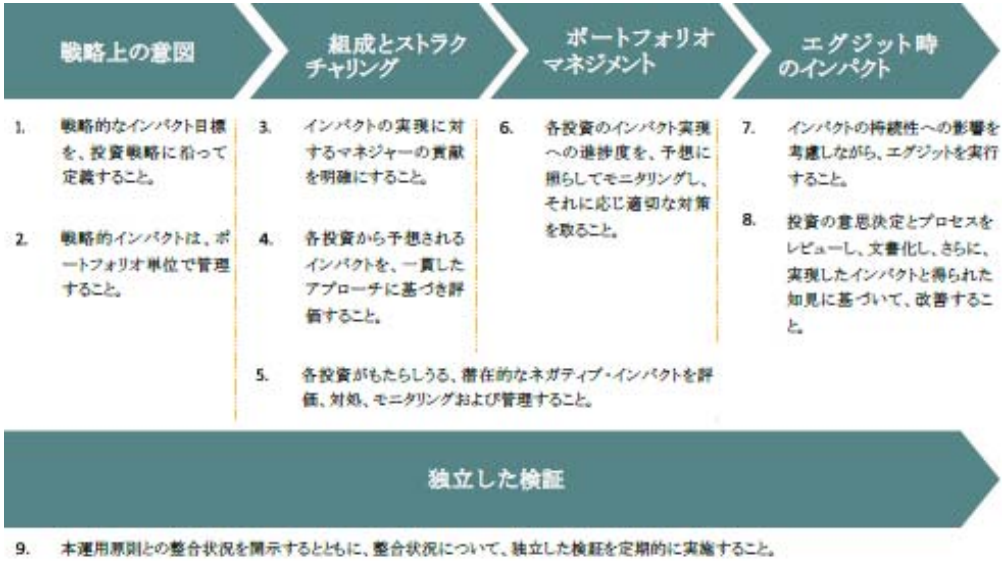
- **ここ十数年でインパクト投資市場は急速に拡大し、多様化すると共に、「インパクト・ウォッシング」といわれる名ばかりの取組み増加への懸念が高まっている。**
- **インパクト投資の健全な発展を推進するため、原則や要件等の明確化の動きが進んでいる。**

【インパクト投資の主な国際的原則の例】

**インパクト投資の４つの中核的な特性**
**“Core Characteristics of Impact Investing”**

出所：GIINウェブサイト（ https://thegiin.org/characteristics）を元に
GSG国内諮問委員会「インパクト投資の拡大に向けた提言書2019」の和訳

**インパクト投資の運用原則＊**
**“Operating Principles for Impact Management”**

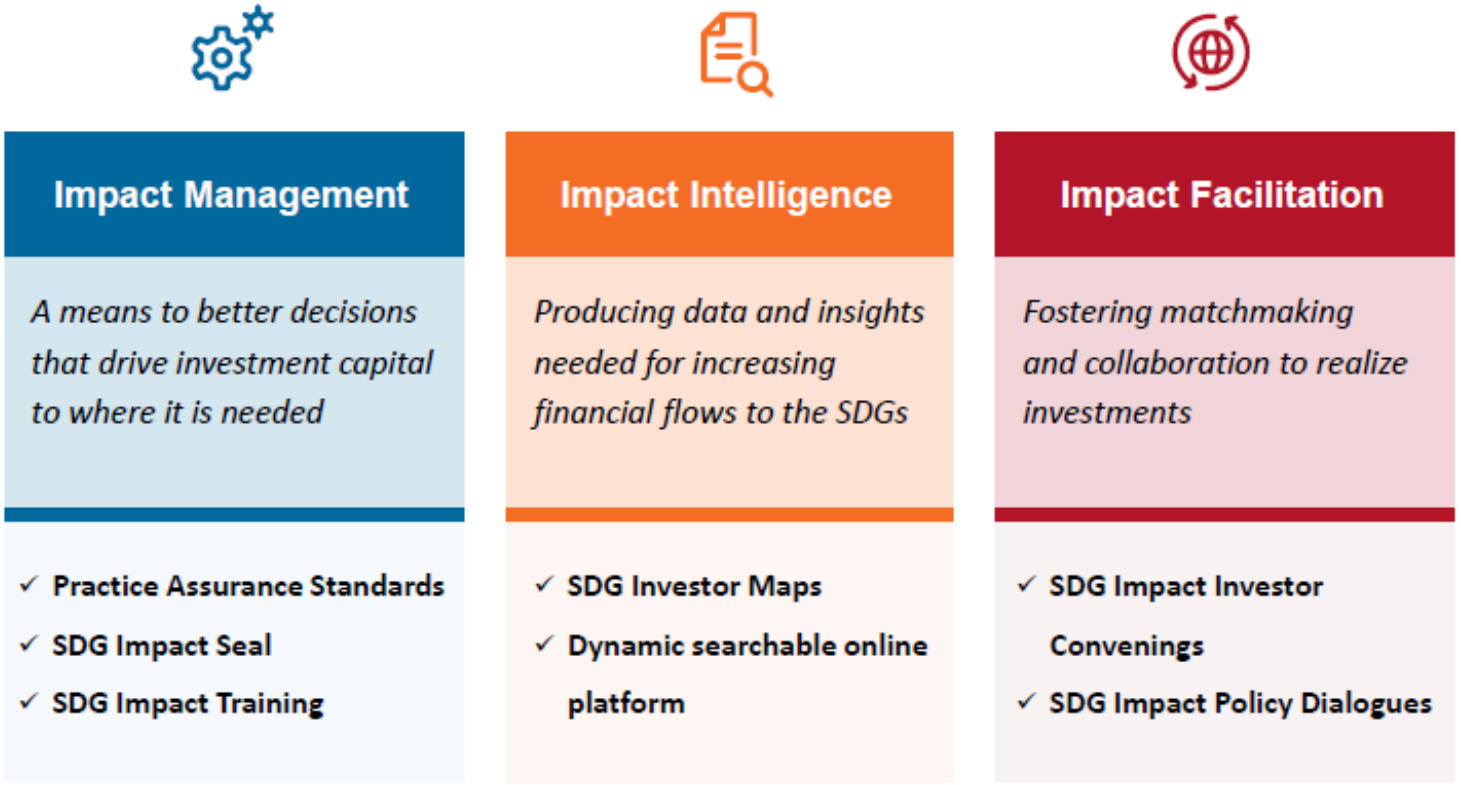



出所：IFC「インパクトを追求する投資：インパクト投資の運用原則」（参考和訳）
＊2020年4月現在、94機関が署名している（https://www.impactprinciples.org/signatories-reporting）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 主なトレンド②SDGs達成に貢献するインパクト投資の推進

- SDGsに関連した社会環境課題解決の加速化に貢献するインパクト投資を推進するため、**ガイドライン・ツールや認証制度の開発**が進んでいる。
- **SDGs Impact**は、UNDPが中心となり設立。ESG投資やインパクト投資の国際推進団体（PRI、GRI、UNEP FI、UN Global Compact、IMP、GSG、GIIN等）



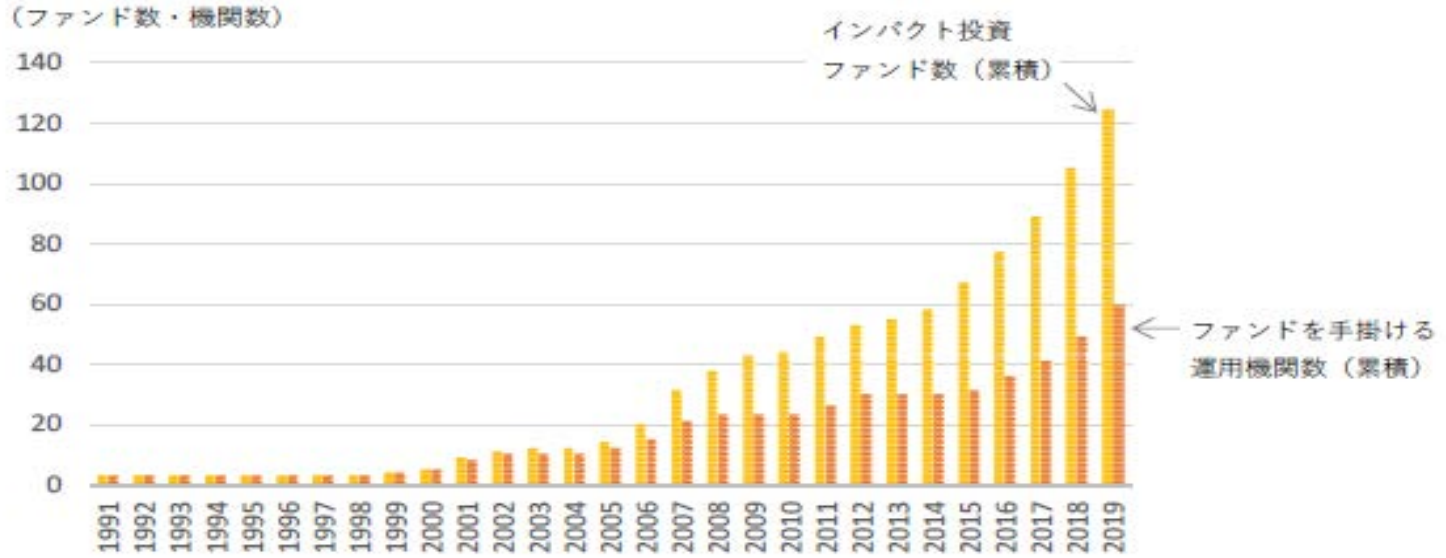

出所：https://sdgimpact.undp.org/#what-we-do

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 主なトレンド③　上場株式投資におけるインパクト投資の増加

- インパクト投資は、元々は未公開市場が活動の中心であったが、大手金融機関や機関投資家の参入と共に、上場株式投資におけるインパクト投資活動が急速に拡大している。
- 一方で、事業が多角化された大企業の社会的インパクト評価、インパクト創出に向けたエンゲージメントのあり方などの課題もあり、今後ベストプラクティスの蓄積が望まれている。

【上場株式におけるインパクト投資ファンド数・手掛ける運用機関数の推移（1991-2019年）】




出所：Phenix Capital 社のデータベース「Global Impact Platform」<https://www.globalimpactplatform.com/>を基にしてニッセイアセットが作成

出所：ニッセイアセットマネジメント株式会社「上場株式投資におけるインパクト投資に関する調査」2020

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

**4. インパクト投資の国内動向**

5. 社会的インパクト評価の動向

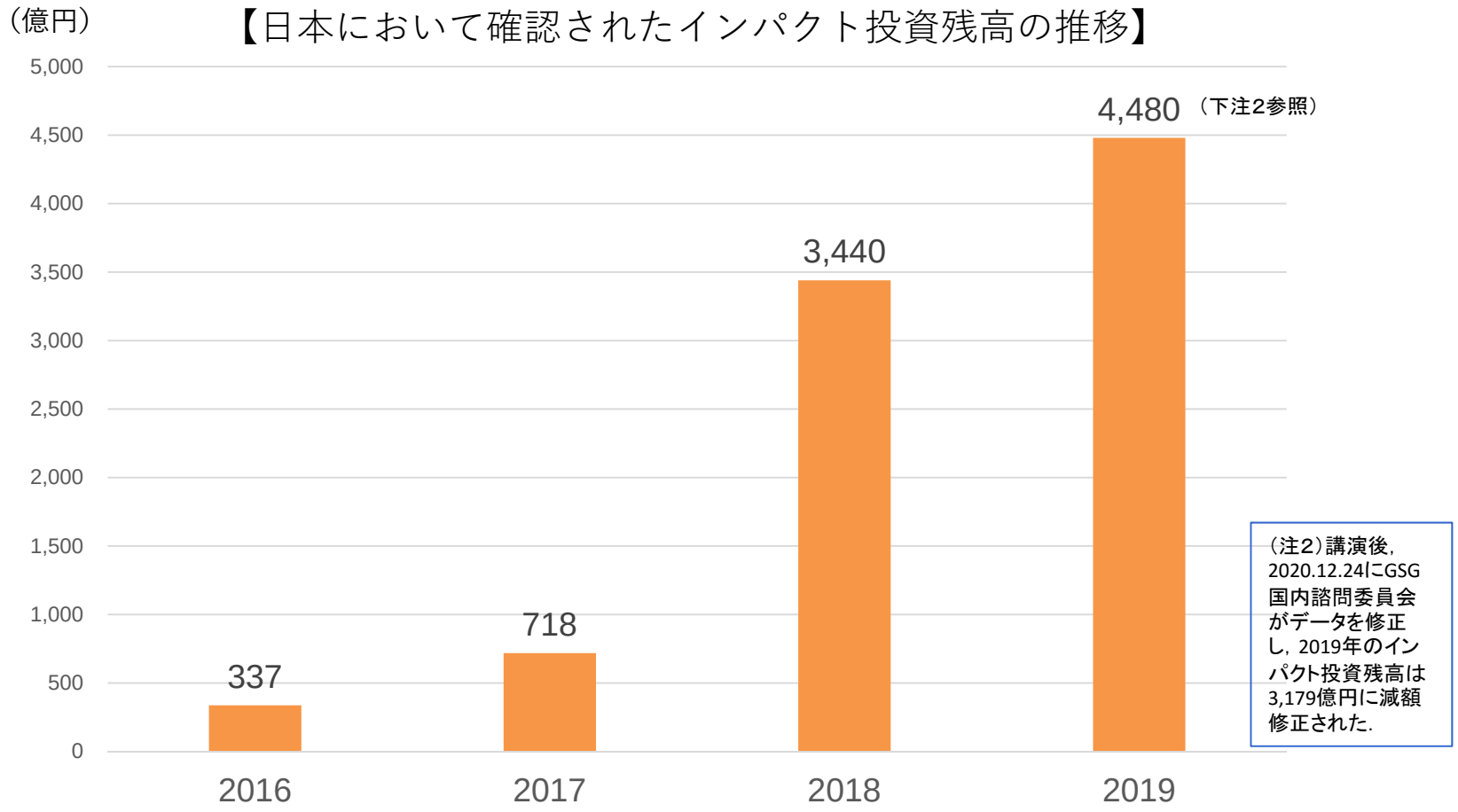
6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 日本において確認されたインパクト投資残高

GSG国内諮問委員会による2019年度のアンケート調査の結果、日本におけるインパクト投資市場は、少なくとも4,480億円のインパクト投資残高があることが確認された（（注１）（注２）参照）




出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」
（注１）アンケート回答に基づき確認できたインパクト投資残高であるため、必ずしも日本のインパクト投資市場規模そのものの推計値ではない。

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 国内における主な動き

## 1. 新たな金融機関のインパクト投資への参入

- 日本におけるインパクト投資の顔ぶれは、資産運用会社、機関投資家、地域金融機関など新たにインパクト投資の実施を開始する金融機関が増えているいる。

## 2. インパクト投資の政策面における展開

- 2019年6月に開催されたG20大阪サミット首脳会議における安倍総理のスピーチにおいて、インパクト投資の重要性と日本がその国際的議論の先導に立つことが明言された。
- 2019年外務省の「SDGsの達成のための新たな資金を考える有識者懇談会」の会合発足でインパクト投資も含めた推進策が検討された。

＜2019年6月＞

**G20大阪サミット 第３セッション 安倍総理スピーチ**

『日本は、地球規模課題の解決に必要な資金確保のため、**社会的インパクト投資**や、休眠預金を含む多様で革新的な資金調達の在り方を検討し、国際的議論の先頭に立つ考えです。以上の諸点について、本年８月に日本で開催されるＴＩＣＡＤ７（第７回アフリカ開発会議）、９月のＳＤＧサミットや、ＵＨＣハイレベル会合を含め、様々なフォーラムで議論を重ねていきたいと思います。』

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 日本におけるインパクト投資の取組み機関

| 種類 | 組織名 | インパクト投資の例（一部抜粋） |
|---|---|---|
| 政府援助機関 | 独立行政法人国際協力機構(JICA) | マイクロファイナンス事業等への海外投融資 |
| 資産運用会社 | アセットマネジメントOne（株） | Japan Equity Impact Investing |
| | 三井住友トラスト・アセット・マネジメント（株） | 日本株インパクト投資 |
| | 鎌倉投信（株） | 公募投資信託「結い2101」での上場・非上場企業への投資 |
| | 野村アセットマネジメント（株） | 野村ACI先進医療インパクト投資（上場株） |
| メガバンク | （株）みずほ銀行 | 広島県大腸がん検診受診率向上SIB、日本インパクト投資２号ファンド（はたらくファンド） |
| | （株）三井住友銀行 | 神戸市糖尿病性腎症等の重症化予防SIB |
| 地域金融機関 | 飛騨信用組合 | 社会課題解決に資する企業に対する融資 |
| 保険会社 | 第一生命保険（株） | SIB、社会課題解決を目指すベンチャー企業への出資、上場株、インパクト投資PEファンド |
| ベンチャーキャピタル | 新生企業投資（株） | 日本インパクト投資1号ファンド（子育て支援ファンド）、日本インパクト投資２号ファンド（はたらくファンド） |
| | （株）デジサーチアンドアドバタイジング | 八王子市大腸がん検診受診率向上SIB、エンジェル投資、シェアファンド等への投資 |
| 財団 | 社会変革推進財団（SIIF） | SIB、ヘルスケア系ベンチャーファンド、日本インパクト投資2号ファンド（はたらくファンド） |
| | 笹川平和財団 | Blue Orchard Micro Finance Fund、Japan ASEAN Women Empowerment Fund |
| インパクト投資専門の組織 | 一般財団法人KIBOW | ソーシャルビジネスを営む事業者への出資 |
| | プラスソーシャルインベストメント株式会社 | インパクト投資ファンドの組成・販売 |
| その他 | 日立キャピタル株式会社 | グリーンボンド |
| | 南都リース株式会社 | ナント地域活力創造サポート投資事業有限責任組合 |

出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

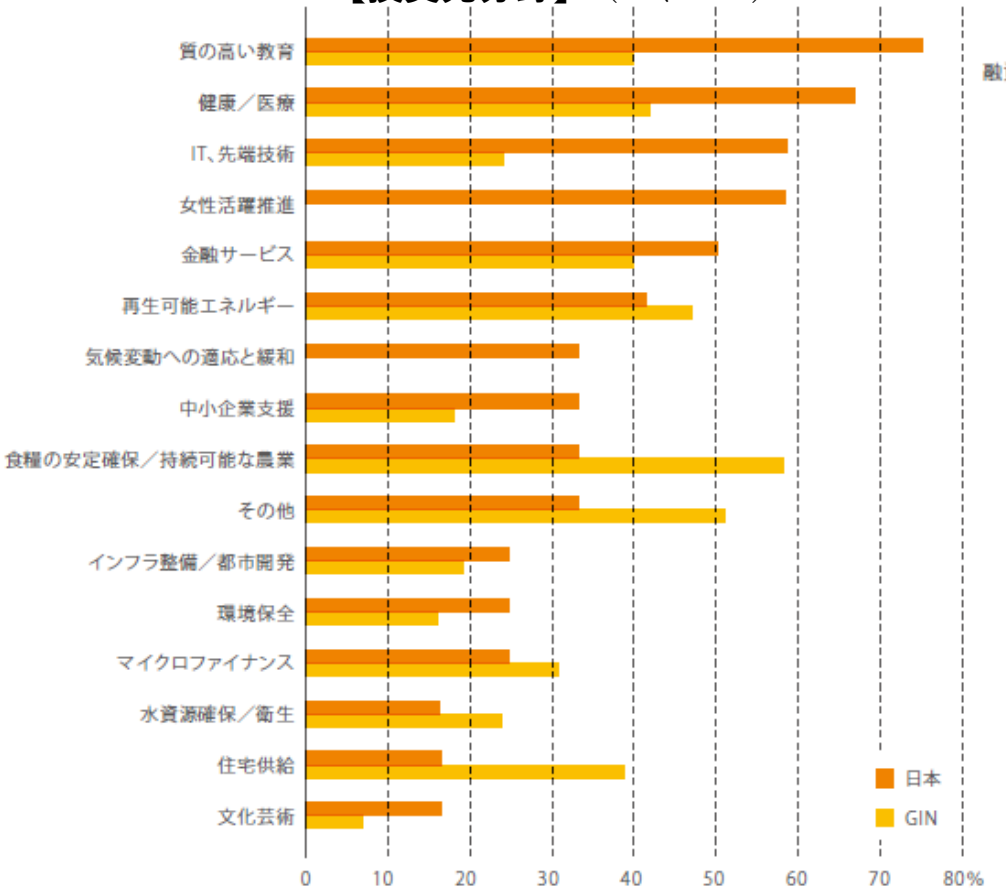


Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 投資先分野と投資手法

- 投資先分野は、教育、健康・医療、IT・先端技術、女性活躍支援が多い。グローバルと比べ、農業や住宅供給などの新興国や先進国低所得者層向けの分野が少ない。
- 投資手法は、グローバルと共通で非上場の株式、債券が多い。グローバルと比べると上場株式の取組みが比較的多い。

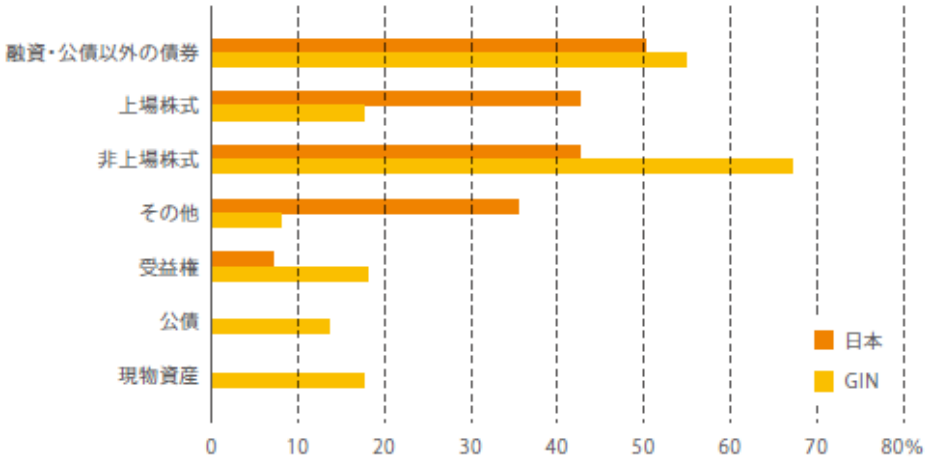
**【投資先分野】**（MA、n=12）




出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

※GIINの調査の前提：MA, n=266

**【投資手法】**（MA、n=14）




※GIINの調査の前提：MA, n=261

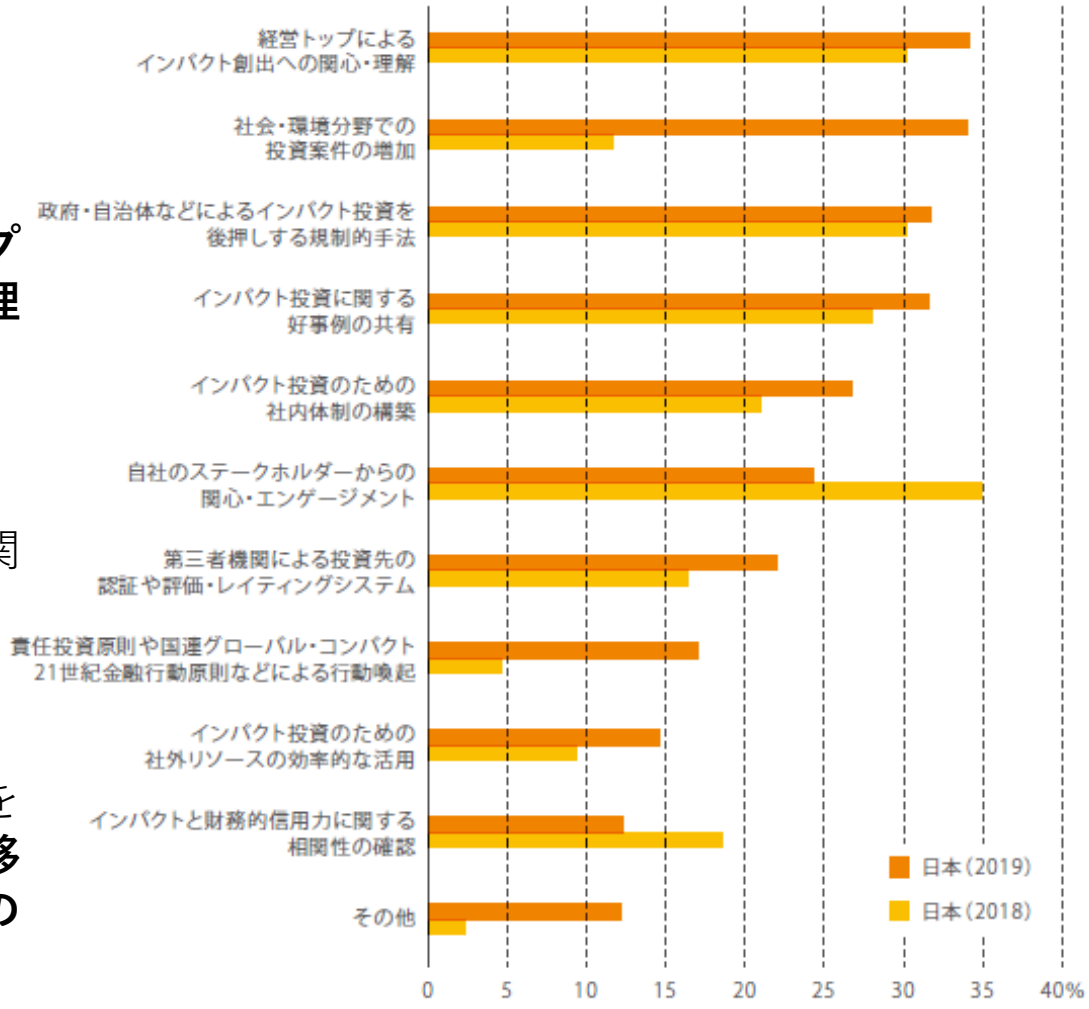


Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資を増やすための条件

- 同調査で最も多く挙げられた条件は、**「社会・環境分野での投資案件の増加」**で、2018年度から大幅に増加。
- 同じく最多の条件は、**「経営トップによるインパクト創出への関心・理解」**。
- 一方で、2018年度に最も多かった「自社のステークホルダーからの関心・エンゲージメント」は、2019年度には大幅に減少。
- 一昨年度と比べ、インパクト投資を**検討する段階から実行する段階に移行**する中で、**具体的な投資案件へのニーズが高まっている**と考えられる。

**【インパクト投資を増やすための条件】**
（MA、2018年度 n=41、2019年度 n=41）



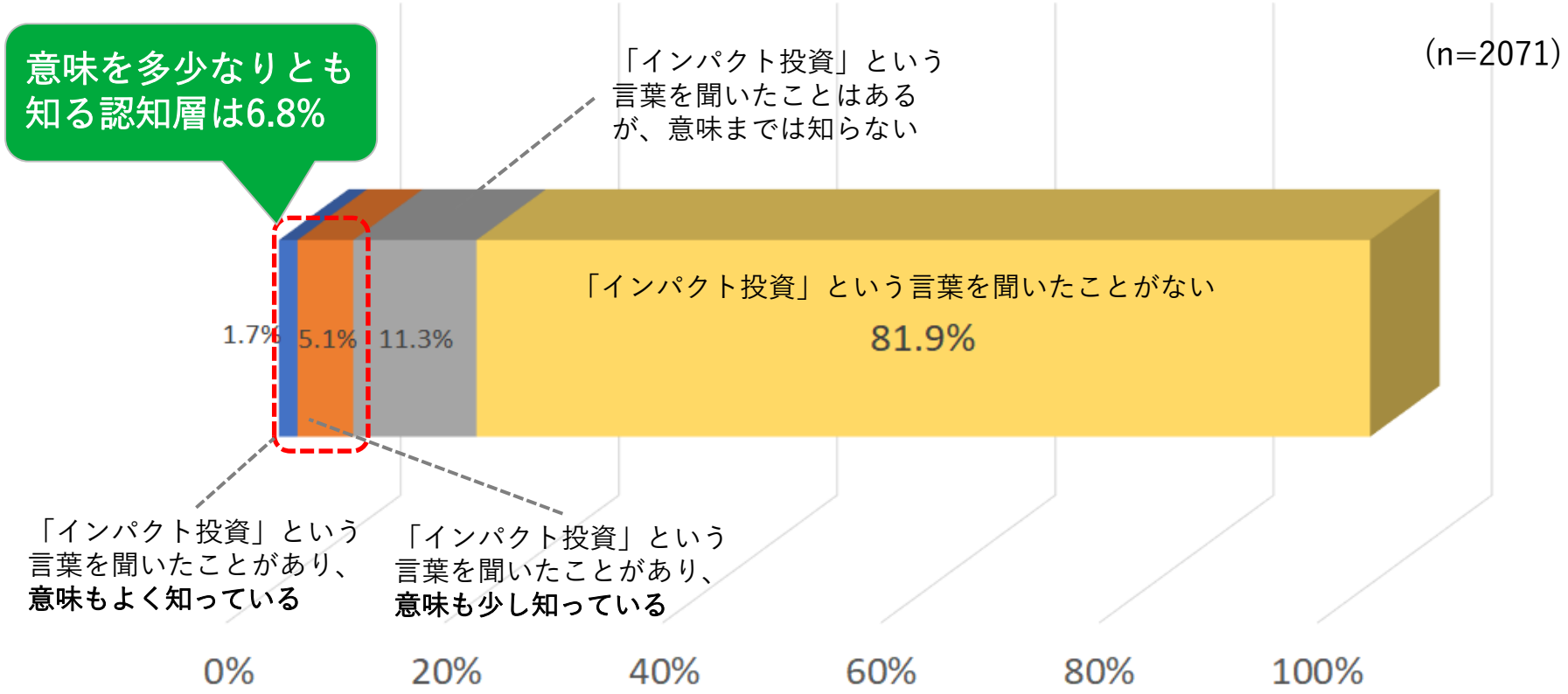

出典：GSG国内諮問委員会「日本におけるインパクト投資の現状2019」

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 一般市民によるインパクト投資の認知度

- 「インパクト投資」という言葉を聞いたことがある人の割合は18.1%、意味を多少なりとも知っている人の割合は6.8%。（2019年8月）

※「SDGs」を聞いたことがある人が27.3%、意味を多少なりとも知っている人が18.0%。(2019年8月)

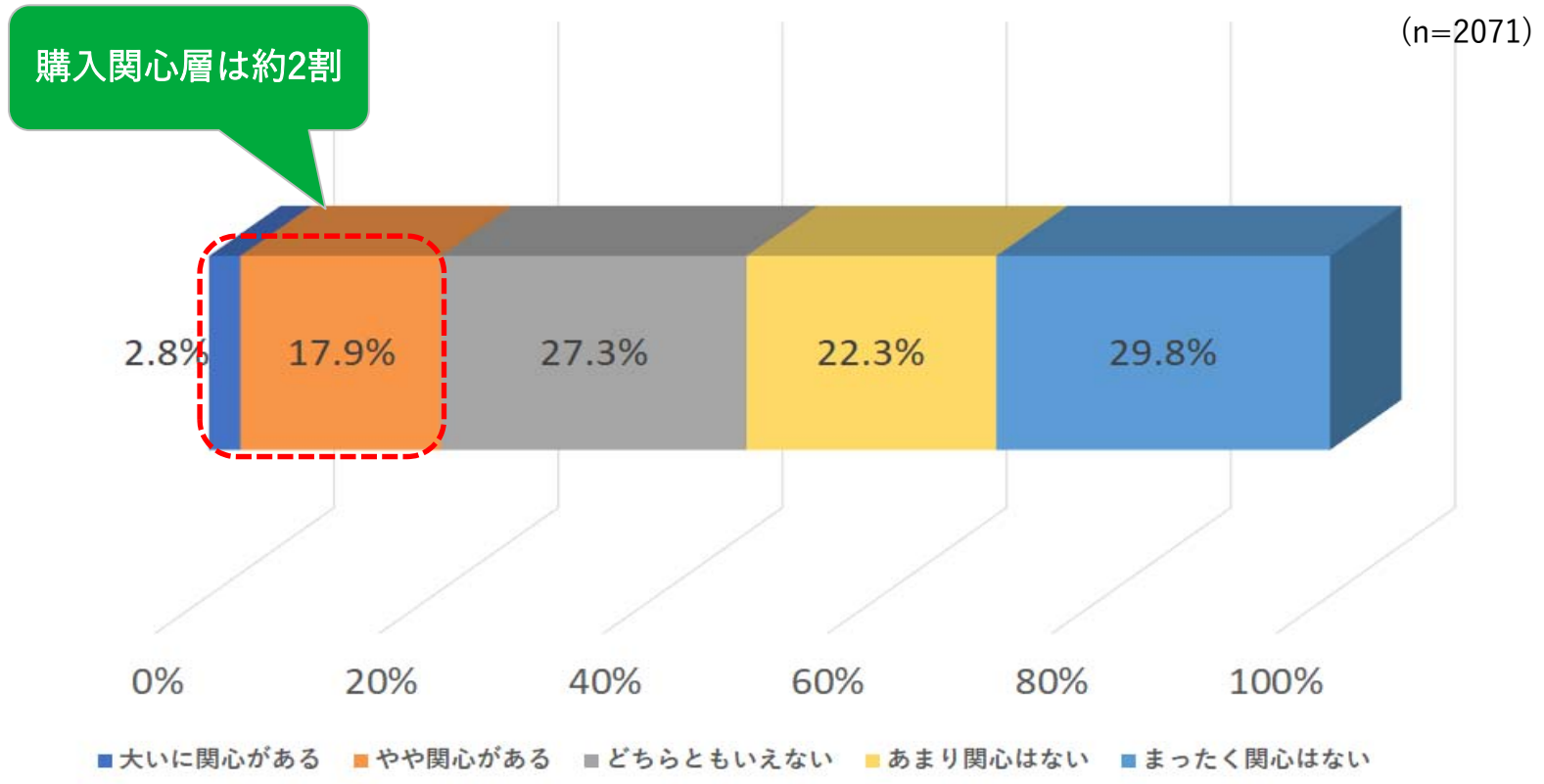



出典：SIIF「インパクト投資に関する一般消費者意識調査2019」（2019年8月）
朝日新聞「SDGs認知度調査第5回報告」（2019年8月）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資商品の購入関心度

- 「大いに関心がある」、「やや関心がある」を合わせると、購入関心ある層は約2割。




出所：SIIF「インパクト投資に関する一般消費者意識調査2019」（2019年8月）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

6. コロナ禍におけるインパクト投資

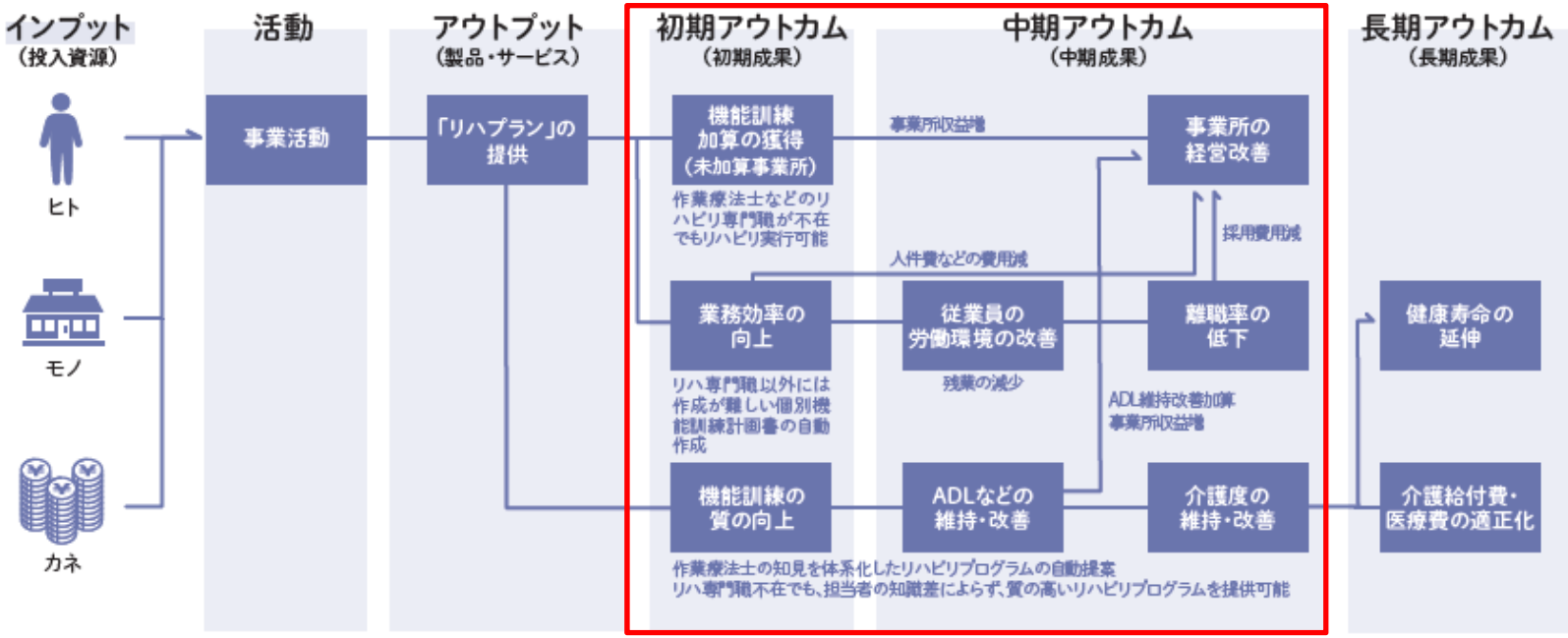
7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクトとは

- インパクトは「**短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム**」を指す。
- アウトプットは「組織や事業の活動がもたらす製品、サービスなど」、アウトカムは「組織や事業のアウトプットがもたらす変化、便益、学びその他効果」。インパクト投資では、**アウトプットだけでなくアウトカムの変化を捉えることが重要**。
- 「**ロジックモデル**」を使って、事業活動からアウトプットやアウトカムに至るまでの理論的な因果関係を図示する。

**【ロジックモデルの例：Rehab for Japan社*】**




＊デイサービスに勤務する機能訓練指導員のリハビリを支援する「リハプラン」を提供。

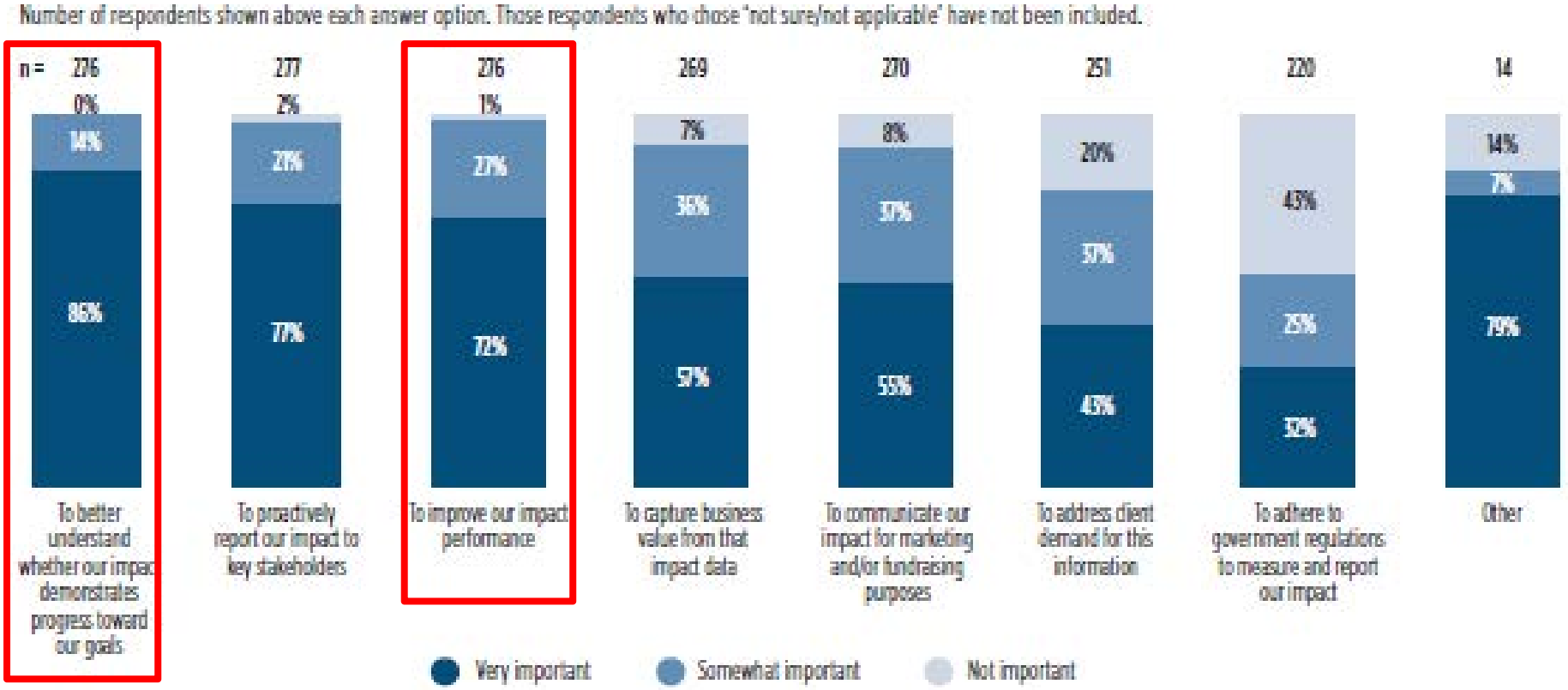
出所：内閣府「社会的インパクト評価の推進に向けてー社会的課題解決に向けた社会的インパクト評価の基本的がいねんと今後の対応策についてー」2016
ヘルスケア・ニューフロンティア・ファンド「インパクトレポート2018」

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資家が社会的インパクト評価・マネジメントを行う目的

- GIINの調査によれば、インパクト投資家の間では、社会的インパクト評価による目標達成状況の把握だけに留まらず、インパクトの向上に向けてマネジメントすることが重要だという共通認識ができている。

**【インパクト投資家が社会的インパクト評価・マネジメント（IMM）を行う理由】**




Note: 'Other' motivations include to adhere to certification schemes, to demonstrate the value of a dual mission, to gather data on impact progress, and to promote learning and awareness.

*Source: GIIN, The State of Impact Measurement and Management Practice, Second Edition*

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 原則、フレームワーク、指標カタログの活用状況

- 圧倒的多数（72%）のインパクト投資家がSDGsを活用している。次いで、「IRIS」（指標）と「IMP」（フレームワーク）。
- 多くのインパクト投資家は複数（平均３つ）のツールを併用している。
- 多くの投資家が、データの標準化や比較可能性を基準にツールを選んでいる。
- 最近は、IFCのインパクトマネジメント運営原則が注目。

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト・マネジメント・プロジェクト（IMP）

- インパクトをいかに評価し、管理し、報告するかについて、**グローバルな共通理解を醸成するためのフォーラム**

- 2018年9月に、国連責任投資原則（PRI）・国際金融公社（IFC）・Global Steering Group for Impact Investment（GSG）等の**ESG投資やインパクト投資の国際推進団体、国際機関等により設立**され、アドバイザリーグループには、BlackRock、PGGM、UBS、みずほフィナンシャルグループ等の主要金融機関らが参画。2,000を超える団体が実務者コミュニティに参画。

- インパクトの評価とマネジメント（IMM）についての方法（フレームワーク）を作成。

出所：IMPホームページ（https://impactmanagementproject.com/）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# IMPによるインパクトの５つの次元

**IMPは、インパクトについて理解を深め、ステークホルダー間で認識を共有するため、「インパクトの５次元」という分析フレームワークを提案している。**

| 次元 | 各次元において検討される問い |
|---|---|
| What | ➢ 当該期間においてどのようなアウトカムが生じたか？<br>➢ そのアウトカムは、それを体験する人々や地球にとってどの程度重要なものか？ |
| Who | ➢ そのアウトカムを体験するのは誰か？<br>➢ そのアウトカムに関係し、影響を受けるステークホルダーは、どのくらい不十分な（困難な）状況にあるか？ |
| How much | ➢ そのアウトカムの大きさはどの程度か？（影響が及んだ範囲、影響の深さ、影響が及んだ期間の長さのそれぞれについて） |
| Contribution | ➢ そのアウトカムに対する組織の貢献度合いは？（仮に組織が何もしなかった場合に、どのような状態になっていたと考えられるかを説明付ける） |
| Risk | ➢ 人々や地球にとって、期待したインパクトが生じないリスクはどの程度か？ |

出所：IMP “What is impact?” <https://impactmanagementproject.com/impact-management/what-is-impact/>（ニッセイアセットが仮訳）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.



出所：ニッセイアセットマネジメント株式会社「上場株式投資におけるインパクト投資」2020

# IRIS+ (Impact Reporting and Investment Standards)

- GIINが開発する「IRIS+」は、投資家が投資先の**事業評価**をする際に活用可能な指標カタログ。
- 2020年3月末時点で、インパクト・テーマやSDGsごとに594指標を掲載（開発中のテーマについては現在グロー投資家や事業者の意見を集約して今後追加される）。

**Impact Themes described in this document include the following:**

**Agriculture**
Food Security
Smallholder Agriculture
Sustainable Agriculture

**Air**
Clean Air

**Biodiversity & Ecosystems**
Biodiversity & Ecosystem Conservation

**Climate**
Climate Mitigation
Climate Resilience and Adaptation

**Diversity & Inclusion**
Gender

**Education**
Access to Quality Education

**Employment**

**Energy**
Clean Energy
Energy Access
Energy Efficiency

**Financial Services**
Financial Inclusion

**Health**
Access to Quality Health Care
Nutrition

**Land**
Natural Resources Conservation
Sustainable Land Management
Sustainable Forestry

**Oceans and Coastal Zones**
Marine Resources Conservation & Management

**Pollution**
Pollution Prevention

**Real Estate**
Affordable Quality Housing
Green buildings

**Waste**
Waste Management

**Water**
Sustainable Water Resources Management
Water, Sanitation, and Hygiene (WASH)

出所：GIIN “IRIS+ Thematic Taxonomy” May 2019

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 世界のインパクト投資界では、コロナ禍の影響を抑え持続的な回復のため、インパクト投資の重要性・必要性が唱えられている

- 「GSG Global Impact Summit 2020」（9月）「Leader‘s Declaration（リーダー宣言書）」公開
  - 失業率の向上を阻止し、格差を埋め、環境を保護するためのインパクト投資を拡大させる
  - 企業に対し、インパクトの可視化を義務化する
  - 企業や投資家がインパクトを追求するための制度の導入

- **Acumen、CDC、ResponsAbility、Shell Foundationなど：**1億ユーロのCOVID-19エネルギーアクセス救済基金を開発（ウェブサイト）

- **BlackRock：**・　最も影響を受けた人々の緊急のニーズを満たすために5,000万ドルをコミット（発表）
- COVID-19とSDGsに重点を置いたインパクトファンドをローンチ（発表）

- **Big Society Capital：**社会投資家は、1億ポンドのローンプログラムを開始。これには、新しいResilience and Recovery Loan Fundを含む（発表）

- **The Rockefeller Foundation**: COVID-19 Response（ウェブサイト）
ウイルスの追跡・管理システムを改善し、経済的困難を抱える人々のニーズに対応するため、2年間で5,000万ドルを拠出する。

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資は、コロナ禍への対応の魔法の杖か？

- コロナ禍により、既存の社会課題の顕在化・先鋭化が著しく（例：雇用、住宅問題、食糧等）、そのような課題へ対応としてインパクト投資の重要性が高まっている

- 他方、主に緊急援助的な性質を持つ対策については、フィランソロピーでしか対応できない領域も当然存在する

- （日本では主に政策金融が対応する）小口融資プログラム、特にテーマを定めたファンドなどが新たに設立されている。「不平等」「人種」といった今まで金融が踏み込んでいなかった新たな社会課題に踏み込んでいく傾向がみられる

*“There has been real acceleration on top of acceleration on sustainability and ESG agenda. For insistence, we created product response such as inequality and racial opportunity fund (in US). I don’t think there has been nothing like that before”*

By Eric Rice, Blackrock

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# インパクト投資家へのコロナ禍へに対する反応・対応

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

**特定の社会的・環境的ニーズの深刻さと緊急性が激化**

- 十分なサービスを受けていないセグメント - 特に女性、歴史的に不利な立場にある人種や民族、若者などは、特に健康面や経済危機に直面。これらのグループは、ウイルスへの曝露と脆弱性、失業、食糧不安に関連した高いリスクに直面。インパクト投資が果たすべき役割がここに存在

**インパクト投資家は、自らの現在のポートフォリオの中で切実なニーズに直面**

- インパクト投資家の多く(42%)は、現在のポートフォリオの支援が優先されるとしており、ほとんどの投資家がすでに非財務的な支援を行ない(76%)、また、投資先企業の追加資本調達や事業再編を支援するために、投資先企業を支援するための資金を提供済

**インパクト投資家は、優先セクター支援へ**

- COVID-19の影響により、金融サービス、食料・農業、ヘルスケアといった主要なセクターでの資金調達のニーズが高まり、COVID-19への対応の一環として、これらのセクターに投資

**新興市場はより資本不足のリスクを抱えているが、多くのインパクト投資家は更なる投資意欲を共有**

- 新興市場への投資が必要。すでに、900億ドル以上の投資資本(インパクトとそれ以外の)が、新興国市場から退避しており、また、地域別の焦点を変更する計画も持っているが、同時に、サハラ以南のアフリカ、ラテンアメリカおよびカリブ海地域での機会に関心を示しているインパクト投資家も存在

**現在の環境下で資本を効果的に展開するには、革新性と効率性が必要**

- インパクト投資家が抱える課題は、特にデューデリジェンスや(52%)、限られたリソース(41%)(資本不足、スタッフの時間(27%)、ディールソーシング(29%))である

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved

出所:GIIN(2020 ) THE IMPACT INVESTING MARKET IN THE COVID-19 CONTEXT

# 目次

1. SIIFのご紹介

2. インパクト投資とは

3. インパクト投資の海外動向

4. インパクト投資の国内動向

5. 社会的インパクト評価の動向

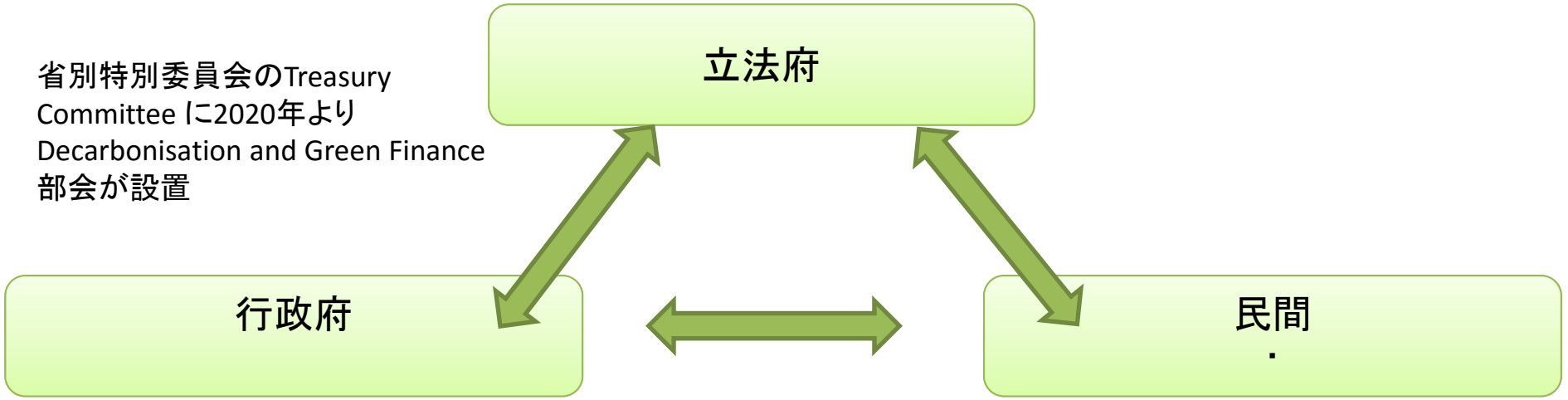
6. コロナ禍におけるインパクト投資

7. インパクト投資と省庁の動き（英国・日本）

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 英国での行政・立法・民間のコミュニケーション

省別特別委員会のTreasury Committee に2020年より Decarbonisation and Green Finance 部会が設置




各省庁
/FCA/PRA/FRC/FOS/PensionRegulator

社会的企業/中間組織/フィナンシャル・アドバイザー/投資家/Advisory Group

①2015年12月：FCAによるCall for Input: Regulatory Barriers to Social Investments（社会的投資を阻害するregulatoryについての、意見公募）=>2016年10月：FCAがFeedback（現状規制において社会的投資を阻む規制障害はないと確認）
②2017年11月に民間タスクフォースが「Growing a Culture of Social Impact Investing in The UK」を作成、それに対し2018年6月に政府（DCMS・財務省）がフィードバックを提出、2019年6月にタスクフォースが最終レポートを提出
③2017年11月：タスクフォース座長Elizabeth CorleyからFCAとFOSに対して書簡を出し、それぞれ回答
④2019年7月：Department for Business, Energy & Industrial Strategy (BEIS) による「Green Finance Strategy」発表

出所：SIIF調べ

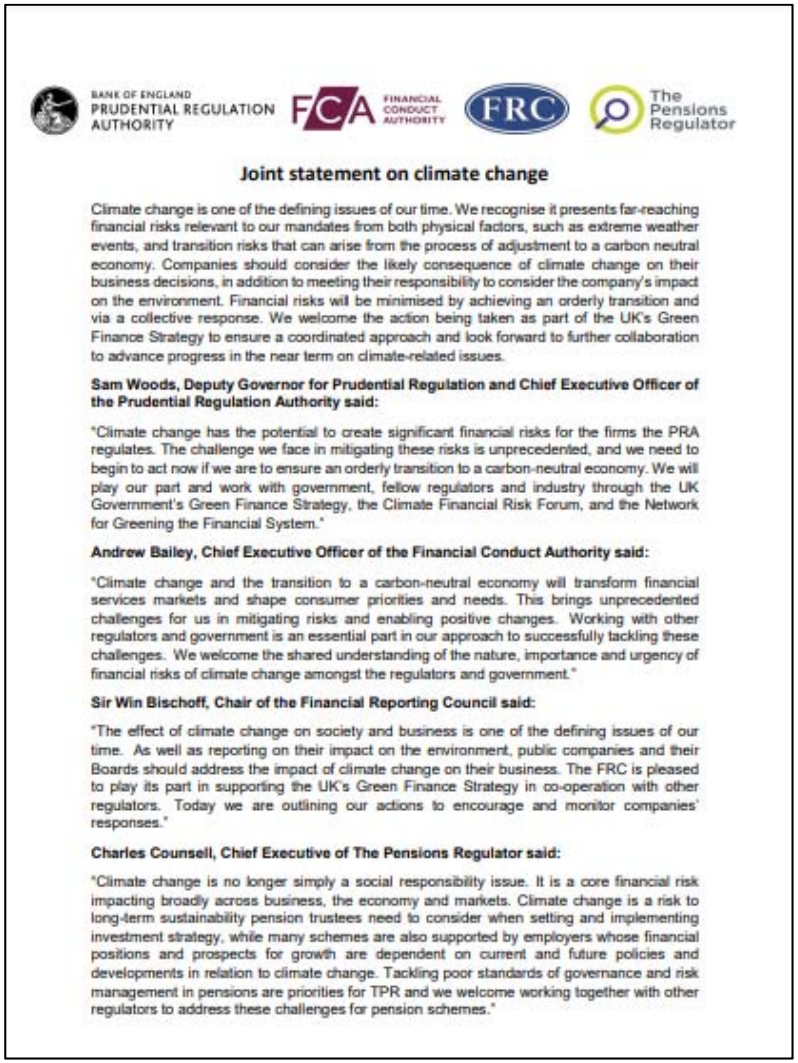
Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

# 英国金融行政と現業官庁のコミュニケーション

2019年7月

- Prudential Regulation Authority (Bank of England)
- Financial Conduct Authority (FCA)
- Financial Reporting Council (FRC)
- The Pensions Regulator

が連名でClimate changについて金融と通じ協力する旨を発表している。



BANK OF ENGLAND PRUDENTIAL REGULATION AUTHORITY

FCA FINANCIAL CONDUCT AUTHORITY

FRC

The Pensions Regulator

**Joint statement on climate change**

Climate change is one of the defining issues of our time. We recognise it presents far-reaching financial risks relevant to our mandates from both physical factors, such as extreme weather events, and transition risks that can arise from the process of adjustment to a carbon neutral economy. Companies should consider the likely consequence of climate change on their business decisions, in addition to meeting their responsibility to consider the company's impact on the environment. Financial risks will be minimised by achieving an orderly transition and via a collective response. We welcome the action being taken as part of the UK's Green Finance Strategy to ensure a coordinated approach and look forward to further collaboration to advance progress in the near term on climate-related issues.

**Sam Woods, Deputy Governor for Prudential Regulation and Chief Executive Officer of the Prudential Regulation Authority said:**

"Climate change has the potential to create significant financial risks for the firms the PRA regulates. The challenge we face in mitigating these risks is unprecedented, and we need to begin to act now if we are to ensure an orderly transition to a carbon-neutral economy. We will play our part and work with government, fellow regulators and industry through the UK Government's Green Finance Strategy, the Climate Financial Risk Forum, and the Network for Greening the Financial System."

**Andrew Bailey, Chief Executive Officer of the Financial Conduct Authority said:**

"Climate change and the transition to a carbon-neutral economy will transform financial services markets and shape consumer priorities and needs. This brings unprecedented challenges for us in mitigating risks and enabling positive changes. Working with other regulators and government is an essential part in our approach to successfully tackling these challenges. We welcome the shared understanding of the nature, importance and urgency of financial risks of climate change amongst the regulators and government."

**Sir Win Bischoff, Chair of the Financial Reporting Council said:**

"The effect of climate change on society and business is one of the defining issues of our time. As well as reporting on their impact on the environment, public companies and their Boards should address the impact of climate change on their business. The FRC is pleased to play its part in supporting the UK's Green Finance Strategy in co-operation with other regulators. Today we are outlining our actions to encourage and monitor companies' responses."

**Charles Counsell, Chief Executive of The Pensions Regulator said:**

"Climate change is no longer simply a social responsibility issue. It is a core financial risk impacting broadly across business, the economy and markets. Climate change is a risk to long-term sustainability pension trustees need to consider when setting and implementing investment strategy, while many schemes are also supported by employers whose financial positions and prospects for growth are dependent on current and future policies and developments in relation to climate change. Tackling poor standards of governance and risk management in pensions are priorities for TPR and we welcome working together with other regulators to address these challenges for pension schemes."

出所：SIIF調べ

# 内閣官房・内閣府

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

## ■まち・ひと・しごと創生基本方針2019

令和元年6月21日閣議決定（内閣官房）

### 第2期における新たな視点

第2期（2020年度～2024年度）においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

**（1）地方へのひと・資金の流れを強化する**
- ◆将来的な地方移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

**（2）新しい時代の流れを力にする**
- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

**（3）人材を育て活かす**
- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

**（4）民間と協働する**
- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

**（5）誰もが活躍できる地域社会をつくる**
- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

**（6）地域経営の視点で取り組む**
- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

### 地方創生ＳＤＧｓに関する言及（抜粋）

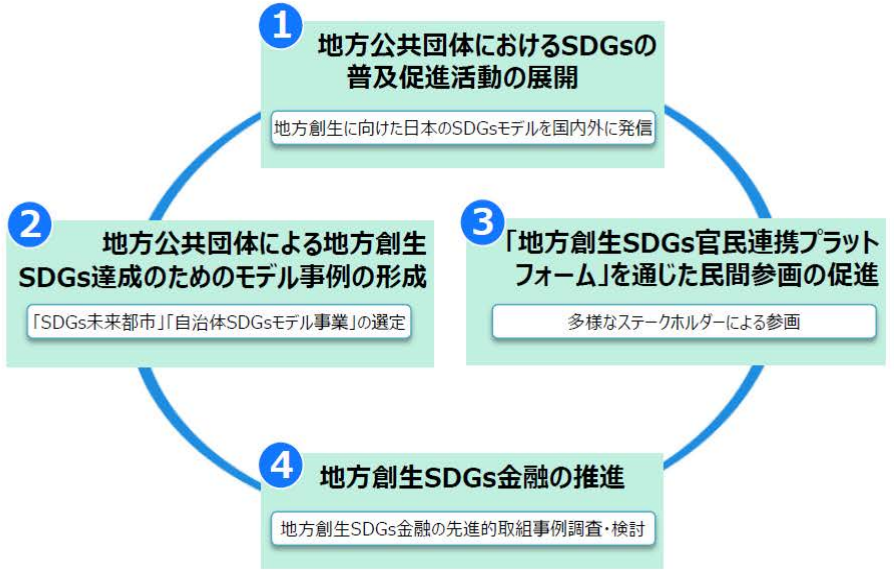
さらに、第２期の地方創生においては、持続可能な開発目標（SDGs）の理念（「誰一人取り残さない」社会の実現）を踏まえ、SDGsを原動力とした地方創生の推進に向け、地方公共団体のみならず、民間企業、金融機関などの**多様なステークホルダーにおける一層の浸透・主流化を図る。**その上で、全国の地方公共団体等が地域課題解決に向けた取組を推進するに当たり、経済・社会及び環境の統合的向上に取り組むことで相乗効果を創出することが期待されることから、多様なステークホルダーの連携による地方創生SDGsに向けた**「自律的好循環」の形成**を進めていく。

### 各分野の施策の推進　地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

＜概要＞

地方創生SDGsの実現に向けては、地方公共団体の取組が重要となるため、普及促進活動の展開や、SDGs未来都市の選定、モデル事業形成への資金的支援を継続する。

さらに、地方公共団体のみならず、民間企業、金融機関などの多様なステークホルダーによる官民連携プラットフォームの取組を一層活発化させるとともに、金融面においても地方創生SDGsを推進する。




**地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくり**

3



ⓒ Masaaki Amma

# 環境省によるインパクト投資の活用

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

- 2020年3月10日第2回ESG金融ハイレベルパネル会合にてタスクフォース（TF）設置を決定．その後委員を決めて，2020年4月23日第1回TF会合．
- **7月15日，「インパクトファイナンスの基本的考え方」が10月8日のESG金融ハイレベルパネル会合で採択．**
- **環境省が，日本の省庁において初めてインパクトファイナンスを環境社会課題解決のために活用していくという姿勢を明確にした**
- インパクトファイナンスを，これまで大規模に推進されてきたESG金融の流れを受けて，次の発展形として，より環境社会課題解決に向けて積極的な投融資を行うものとして推進することにした．
- その基本的考え方には，定義，金融種類，運用，評価，開示などについての運用の考え方を示し，すべての金融機関が取り組みやすいようにした．
- 国際的に策定されてきた基本的な概念やフレームワークなどから新たに発展させたものではなく，むしろ矛盾しない概念として，わかりやすく基本的な概念を示した．
- TF議論を通じて金融種類を通じたインパクトファイナンスの多様な実態が浮き彫りになった．その点は、金融庁のインパクト投資勉強会でも同様。
- TF後半戦は，今後，来年6月に向けて，インパクト評価ガイドの策定作業に入る．


ⓒ Masaaki Amma

# 金融庁共催「インパクト投資に関する勉強会」の背景・趣旨・概要

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

| | |
|---|---|
| 課題意識 | ● ①G20大阪会合を契機に、SDGs達成に向けた取り組みの推進にあたり民間資金の動員は不可欠とされ、特にインパクト投資の活用に内外の期待が高まり、ESG投資の次の段階としてインパクト投資に強い関心が寄せられている。<br>● ②特に、我が国においてインパクト投資を考えることは、地方創生という社会課題解決に関する地域金融機関の取り組みを考えるうえでも不可欠であるほか、メガバンク・証券会社等大手金融機関が、投資家（機関・個人）の期待に応えた金融商品を開発するという金融の国際競争力という観点からも重要である。<br>● ③一方で、インパクト投資については、その定義、インパクトの評価、インパクトとリターンの相関関係、適切な退出手段の確保、アセットクラスとしての位置づけなどの観点から課題も多い。<br>● ④その健全な発展を推進するにあたっては、市場関係者および官民の関係機関の理解を深め、必要があれば適切な市場整備を含めた官民の取り組みが不可欠である。以上を踏まえて、本勉強会では、主として投資家としての金融機関にとってのインパクト投資およびそれを取り巻くエコシステム構築の在り方について焦点をあてて議論を行う。 |
| 目的 | ● インパクト投資についての金融市場関係者と行政・規制当局の理解を深め、国内外の社会課題解決に向けたインパクト投資への取り組みの意義と課題を明らかにし、我が国金融業界の持続的な発展に資する推進の在り方について議論する。インパクト投資に係る国内エコシステムの構築を一次的な目的とするため、初めから提言ありきではないが、議論の状況に応じ、何らかのとりまとめを行うことも考えられる。 |
| 主催 | ● 金融庁とGSG国内諮問委員会の共催 |
| 座長・副座長 | ● 高崎経済大学教授　水口　剛<br>● 金融庁チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー　池田賢志 |

# 委員一覧

SIIF Social Innovation and Investment Foundation

（順不同・敬称略）

| 氏名 | 組織 | 役職 |
|---|---|---|
| 水口　剛 | 高崎経済大学 | 経済学部教授 |
| 加藤　康之 | 京都大学/東京都立大学 | 教授 |
| 池田　賢志 | 金融庁 | 総合政策局　チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー |
| 末吉　光太郎 | 株式会社みずほ銀行 | リテール法人推進部次長兼SDGsビジネスデスク長 |
| 加藤　晶弘 | 株式会社三菱UFJ銀行 | サステナブルビジネス室長 |
| 金子　忠裕 | 株式会社三井住友銀行 | サステナブルビジネス推進室長 |
| 金井　司 | 三井住友信託銀行株式会社 | フェロー役員 |
| 川那部　留理子 | 株式会社大和証券グループ本社 | 経営企画部SDGs推進室長 |
| 竹ケ原　啓介 | 株式会社日本政策投資銀行 | 執行役員産業調査本部副本部長兼経営企画部サステナビリティ経営室長 |
| 五辺和　茂 | 株式会社国際協力銀行 | 経営企画部　審議役 |
| 森　睦也 | 独立行政法人国際協力機構 | 上級審議役 |
| 太田　豊 | 株式会社横浜銀行 | 地域戦略統括部　副部長 |
| 三宅　和彦 | 株式会社愛媛銀行 | 執行役員企画広報部長 |
| 豊島　敦 | 信金中央金庫 | 法人営業推進部長 |
| 篠崎　研一 | 第一勧業信用組合 | 連携企画推進部　部長 |
| 銭谷　美幸 | 第一生命ホールディングス株式会社 | 経営企画ユニット 兼 第一生命　運用企画部<br>エグゼクティブ・サステナブルファイナンス・スペシャリスト |
| 今村　敏之 | 野村アセットマネジメント株式会社 | 責任投資調査部長 |
| 松原　稔 | りそなアセットマネジメント株式会社 | 執行役員責任投資部長 |
| 林　寿和 | ニッセイアセットマネジメント株式会社 | 運用企画部　チーフアナリスト |
| 寺沢　徹 | アセットマネジメントOne株式会社 | 運用本部　責任投資グループ長 |
| 内藤　豊 | ブラックロック・ジャパン株式会社 | 経営企画部門副部門長、商品開発部長、サステナブル投資推進部長 |
| 足達　英一郎 | 株式会社日本総合研究所 | 理事 |
| 重富　渚 | グロバールブレイン株式会社 | プリンシパル |
| 白石　智哉 | 一般社団法人ソーシャルインベストメントパートナーズ | 理事 |
| 高塚　清佳 | 新生企業投資株式会社 | シニアディレクター |
| 磯貝　友紀 | PwCサステイナビリティ合同会社 | サステイナビリティパートナー |
| 雨宮　寛 | アラベスクS-Ray | 日本代表 |
| 星　直人 | ユニファ株式会社 | 取締役CFO |
| 石川　孔明 | ライフイズテック株式会社 | 取締役CFO/Impact Officer |
| 森川　怜子 | 日本証券業協会 | SDGs推進本部　SDGs推進室長 |
| 青木　一郎 | 第2種金融商品取引業協会 | 専務理事 |
| 関 正雄 | 一般社団法人　日本経済団体連合会 | 損保ジャパンCSR室シニアアドバイザー、経団連企業行動・SDGs委員会企業行動憲章<br>タスクフォース座長/ビジネスと人権タスクフォース座長 |
| 小沼　泰之 | 株式会社東京証券取引所 | 取締役　専務執行役員 |
| 今田　克司 | 社会的インパクトマネジメントイニシアティヴ(SIMI) | 運営事務局リーダー |
| 安間　匡明 | 一般財団法人　社会変革推進財団(SIIF) | エグゼキュティブアドバイザー |

# スケジュール

- 第1回　6月19日　インパクト投資①
- 第2回　9月3日　インパクト投資②

終了

- 第3回　11月20日（予定）社会的インパクト評価/インパクト・マネジメント
- 第4回　1月　非上場企業に対するインパクト投資
- 第5回　3月　上場企業株式/債券を通じたインパクト投資
- 第6回　5月　融資を通じたインパクト投資と地域金融

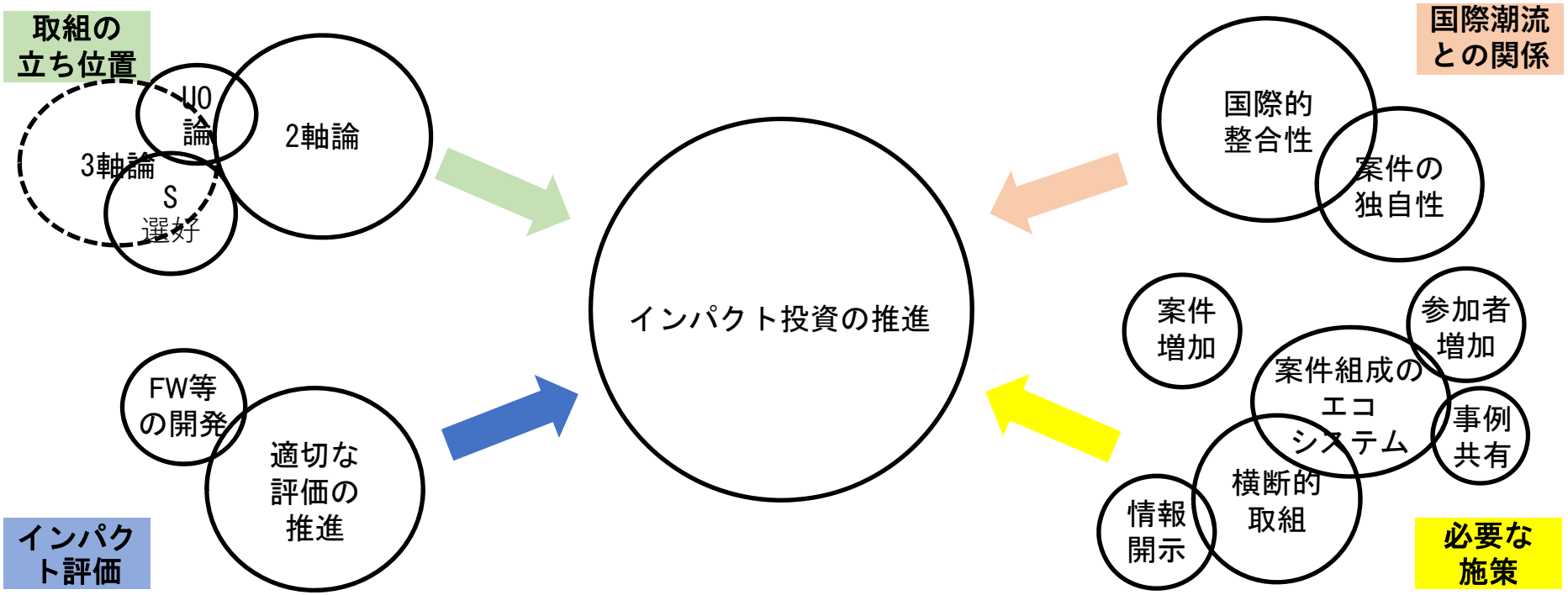
予定

＝＞以後順次決定

Copyright© 2020 SIIF All Rights Reserved.

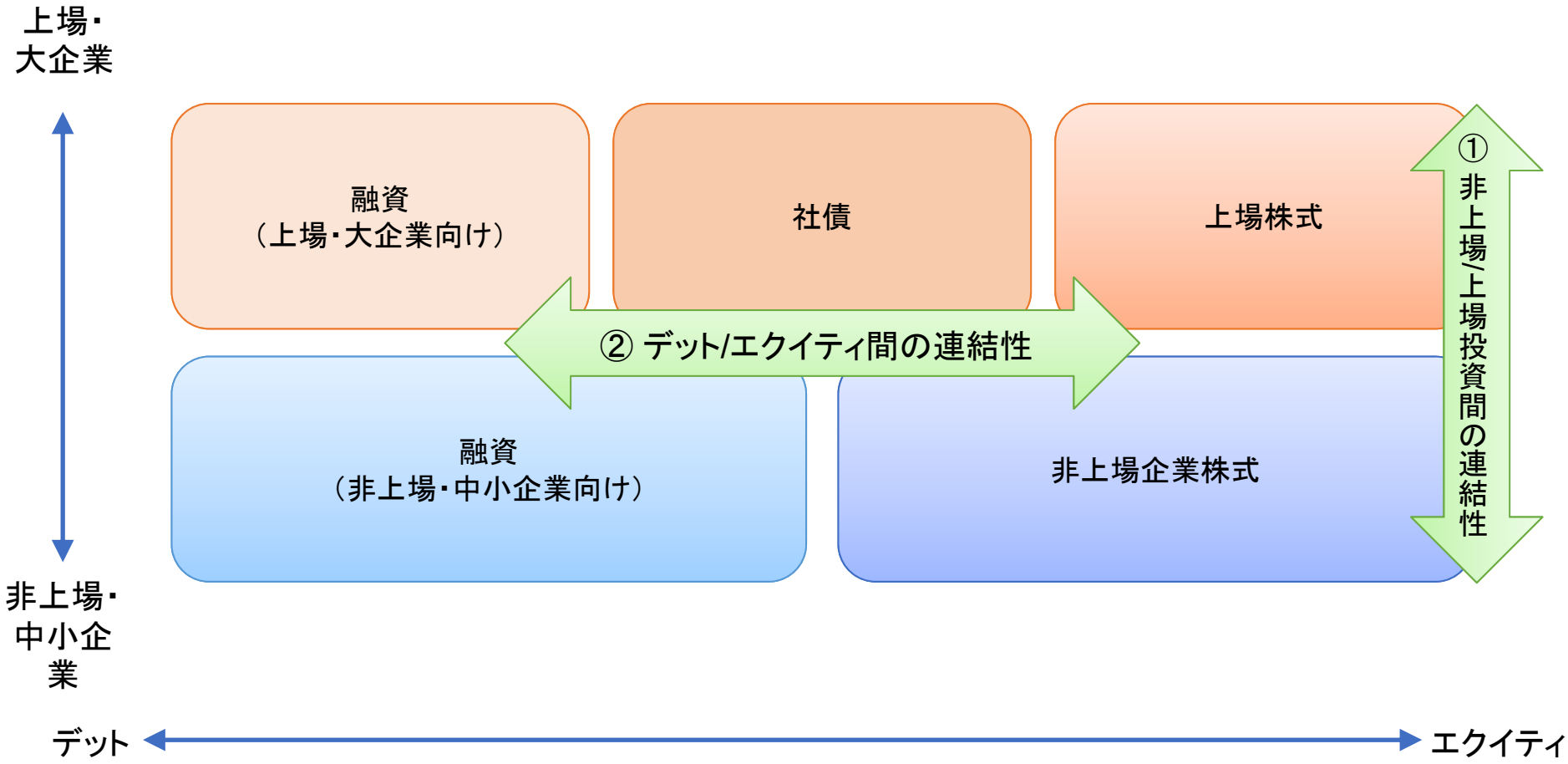
# 各委員からの主な意見の整理
# （アンケート結果を取りまとめたもの）

①取組の立ち位置2軸論が多かったが、3軸論(サステナビリティ選好等)も複数存在
②国際潮流との関係：国際的整合性（対外発信含む）が重要との意見が多数。日本独自の特徴・案件へ配慮が必要との意見も複数存在
③インパクト評価：評価の重要性は多くの委員が強調。明快さ、コスト圧縮、標準化、精緻化等の必要性をあげ、フレームワーク/ツール/手法/ガイドラインなどの開発を求める意見も複数存在（質問7,8も参照）
④必要な施策：案件増加、プレイヤー増加、事例の共有、情報開示、分野間の連結性の確保、受託者責任の整理等、多様な意見が存在



# 各商品の位置付け・各商品間の連結性

●どの金融商品/顧客（個人、機関投資家、年金等）からインパクト投資が拡大するかについては、多様な意見があった
●また、① 非上場/上場投資間の連結性や、② デット/エクイティ間の連結性の重要性を指摘する声が複数あがった



# 最後に

１．コロナ禍を受けて、インパクト投資は、世界で今後も急激に成長し続ける。会計制度や金融資本市場の改革にまで発展する。

２．我が国の取組は始まったばかりで、世界市場に占めるシェアも低い（1%未満、参考：ESGにおける日本のシェアは約10%）

３．高いインパクトを追求しようとする欧米の取組に比べて、日本のインパクト投資の質はまだ発展途上。企業（大企業・ベンチャー）・金融機関とも。中途半端なインパクトに終わるリスクに留意。

４．政府・自治体が、①優先社会課題の特定・共有、②インパクト評価に必要なデータ整備、③企業・金融機関の取組の評価制度創設などに取り組むことで、インパクト投資を効果的に活用できるようになる。

５．「国際的議論の先頭に立つ」：大手金融機関のリーダーシップ

６．「規制緩和」と「金融」で⇒イノベーション⇒インパクト投資⇒課題解決という「自助」の好循環を作り出す。

７．全省庁の要として、財務省・金融庁は重要な役割を果たしうる。

安間匡明

amma.masaaki@siif.or.jp

ⓒ “image: Freepik.com”